

新旧対照表

○給水装置工事設計施行基準・解説

新	旧
<div>給水装置工事設計施行基準・解説</div> <div>令和 7 年 4 月 1 日</div> <div><div>神奈川県県営上水道条例第 1 5 条第 2 項に定める工法、工期その他の条件、及び第 16 条に定める給水管、給水用具の構造、材質の指定については、本基準によるものとします。 また、本基準は水道法、条例の改正等により適宜改正しますので、内容については最寄りの営業所に確認してください。</div></div> <div>神奈川県企業庁</div>	<div>給水装置工事設計施行基準・解説</div> <div>令和 6 年 4 月 1 日</div> <div><div>神奈川県県営上水道条例第 1 5 条第 2 項に定める工法、工期その他の条件、及び第 16 条に定める給水管、給水用具の構造、材質の指定については、本基準によるものとします。 また、本基準は水道法、条例の改正等により適宜改正しますので、内容については最寄りの営業所に確認してください。</div></div> <div>神奈川県企業庁</div>

新	旧
<div>第2章 給水装置工事</div> <div>2・2 給水装置工事の施行</div> <div><div>[解 説]</div><div>1・4「管理者の施行」で規定される工事は除く。 水道法第16条の2第3項の「国土交通省令で定める給水装置の軽微な変更」については、指定給水装置工事事業者以外の者でも施行できるものとする。</div><div>(参考) 給水装置の軽微な変更 国土交通省令（水道法施行規則第13条）に定める軽微な変更とは、単独水栓の取替及び補修、並びにこま、パッキン等の給水装置の末端に設置される給水用具の部品の取替（配管を伴わないものに限る）をいう。</div></div> <div>2・3 給水装置の構造及び材質の基準</div> <div><div>[解 説]</div><div>(参考) 水道法施行令 第6条 法第16条の規定による給水装置の構造及び材質は、次のとおりとする。 2 前項各号に規定する基準を適用するについて必要な技術的細目は、国土交通省令（浄水の水質を保持するために必要な技術的細目にあつては、国土交通省令・環境省令）で定める。</div></div> <div>第3章 給水装置工事の基本計画</div> <div>3・3 給水方式の決定</div> <div>3・3・1 直結式給水</div> <div><div>[解 説]</div><div>1について； 本管の供給能力とは、口径、水量、水圧等をいう。なお、本管の水圧を調査する必要がある場合は、「水圧調査依頼書（様式－3の4）」により営業所に依頼することができる。 詳細については、3・6「直結直圧式給水方式」、3・7「直結増圧式給水方式」を参照のこと。</div></div>	<div>第2章 給水装置工事</div> <div>2・2 給水装置工事の施行</div> <div><div>[解 説]</div><div>1・4「管理者の施行」で規定される工事は除く。 水道法第16条の2第3項の「厚生労働省令で定める給水装置の軽微な変更」については、指定給水装置工事事業者以外の者でも施行できるものとする。</div><div>(参考) 給水装置の軽微な変更 厚生労働省令（水道法施行規則第13条）に定める軽微な変更とは、単独水栓の取替及び補修、並びにこま、パッキン等の給水装置の末端に設置される給水用具の部品の取替（配管を伴わないものに限る）をいう。</div></div> <div>2・3 給水装置の構造及び材質の基準</div> <div><div>[解 説]</div><div>(参考) 水道法施行令 第6条 法第16条の規定による給水装置の構造及び材質は、次のとおりとする。 2 前項各号に規定する基準を適用するについて必要な技術的細目は、厚生労働省令で定める。</div></div> <div>第3章 給水装置工事の基本計画</div> <div>3・3 給水方式の決定</div> <div>3・3・1 直結式給水</div> <div><div>[解 説]</div><div>1について； 本管の供給能力とは、口径、水量、水圧等をいう。なお、本管の水圧を調査する必要がある場合は、「水圧調査依頼書（様式－4の5）」により営業所に依頼することができる。 詳細については、3・6「直結直圧式給水方式」、3・7「直結増圧式給水方式」を参照のこと。</div></div>

新

3・5給水管の口径決定

3・5・1口径の決定基準

1給水管の口径は、給水用具の標高差と計画使用水量に対する総損失水頭及び余裕水頭を加えたものが、給水管を分岐する又は給水管が分岐された配水管の設計水圧を水頭に換算した値以下となるよう水理計算により決定する。

2設計水圧とは、管理者が定める配水管の水圧をいい、次表によること。

表3－5－1設計水圧(単位：MPa)

本管最小動水圧	設計水圧
$0.40 \leq P$	0.35
$0.35 \leq P < 0.40$	0.30
$0.25 \leq P < 0.35$	0.25
$0.15 \leq P < 0.25$	0.15
$P < 0.15$	実測水圧

3・5・2口径決定計算の方法

2各種給水用具の損失水頭は、製造会社の資料等を参考にするとともに、次表によること。

表3－5－2用具損失水頭の直管換算長(単位:m)

種別 口径(mm)	栓類		水道メーター	給水栓
	ボールタップ等	分水栓，止水栓等(※)		
13	3.0	1.5	4.0	3.0
20	8.0	2.0	11.0	8.0
25	9.0	3.0	15.0	8.0
40	21.0	6.0	26.0	
50	25.0	8.0	35.0	

※サドル付分水栓、乙止水栓、埋設用青銅仕切弁、メーターバルブ等をいう。
※割T字管の換算長は0mとする。

[解説]

1について；
(2)ヘーゼン・ウィリアムス公式（口径75mm以上の場合）
注2）設計水圧は、表3－5－1「設計水圧」とする。

旧

3・5給水管の口径決定

3・5・1口径の決定基準

給水管の口径は、給水用具の標高差と計画使用水量に対する総損失水頭及び余裕水頭を加えたものが、給水管を分岐する、又は給水管が分岐された配水管の設計水圧を水頭に換算した値以下となるよう水理計算により決定する。

3・5・2口径決定計算の方法

2各種給水用具の損失水頭は、製造会社の資料等を参考にするとともに、次表によること。

表3－5－1用具損失水頭の直管換算長(単位:m)

種別 口径(mm)	栓類		水道メーター	給水栓
	ボールタップ等	分水栓，止水栓等(※)		
13	3.0	1.5	4.0	3.0
20	8.0	2.0	11.0	8.0
25	9.0	3.0	15.0	8.0
40	21.0	6.0	26.0	
50	25.0	8.0	35.0	

※サドル付分水栓、乙止水栓、埋設用青銅仕切弁、メーターバルブ等をいう。
※割T字管の換算長は0mとする。

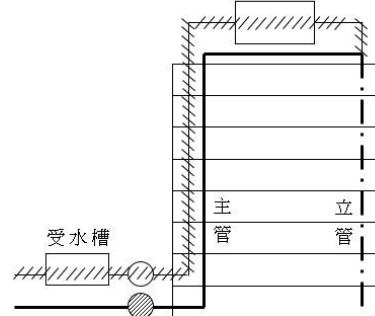
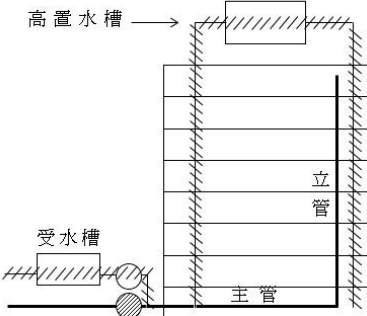
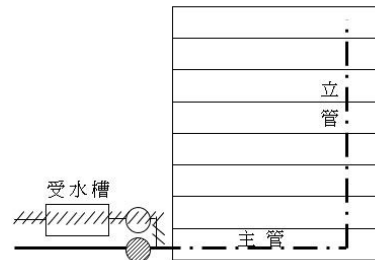
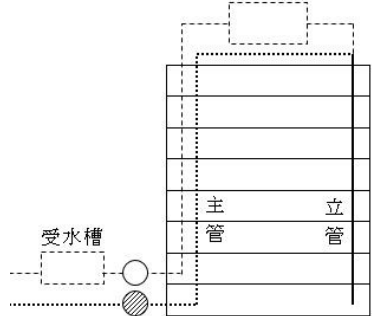
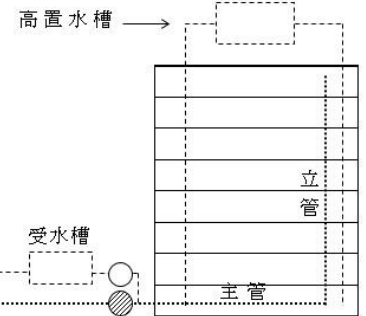
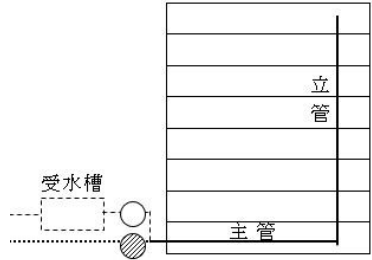
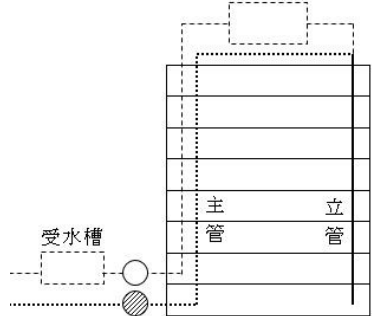
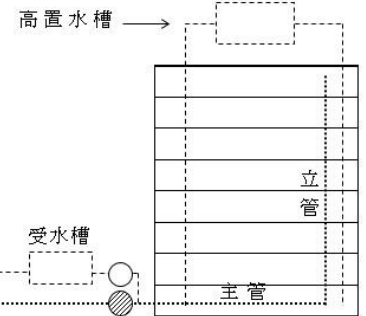
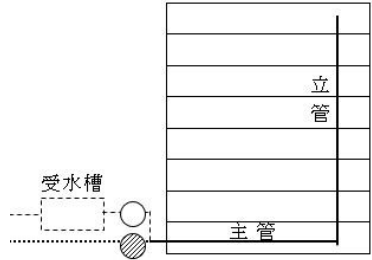
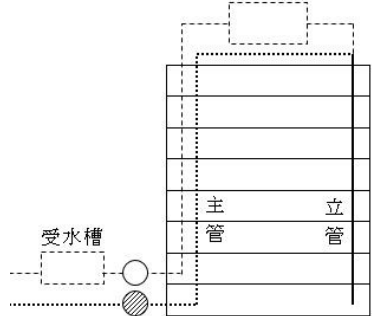
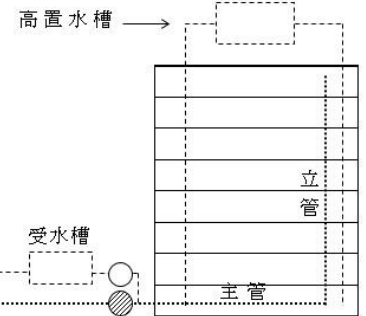
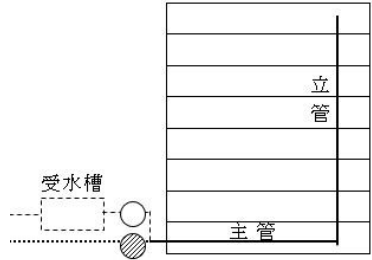
[解説]

1について；
(2)ヘーゼン・ウィリアムス公式（口径75mm以上の場合）
注2）設計水圧は、0.15MPaとする。また、3階直結直圧式給水可能区域については0.25MPaとする。

新	旧
<div>3・6 直結直圧式給水方式</div> <div><div><p>直結直圧式とは、本管の水量、水圧等の供給能力の範囲で、末端給水用具まで給水する方式をいう。直結直圧式の場合、<u>設計水圧</u>及び給水する高さの範囲で水理計算上可能なものに適用する。<u>なお、水理計算方法は3・5・2「口径決定計算の方法」による。</u></p><p>また、既設建物において、既設配管をそのまま使用し直結式給水を希望する場合は、3・10「給水方式の切替」による。</p></div><div><p>[解 説]</p><p>設計水圧を調査する必要がある場合は、「水圧調査依頼書（<u>様式－3の4</u>）」により営業所に依頼することができる。</p><p>専用住宅及び共同住宅以外の建物で直結直圧式給水を希望する場合は、3・3・2「受水槽式給水」における適用範囲を勘案の上、「<u>直結（直圧・増圧）式給水条件承諾書（新設・切替）（様式－3）</u>」により、申込者に対してその内容を十分説明し、承諾を得ること。</p></div></div> <div><div>3・6・2 適用範囲</div><div><div><p><u>3階直結直圧式給水方式を適用する範囲は、専用住宅、共同住宅、店舗併用住宅、店舗併用共同住宅、事務所ビルで、次の条件を満たす場合とする。</u></p><p>1 本管の年間最小動水圧が0.25MPa以上で、口径75mm以上<u>または管網形成をしている口径50mmの管</u>からの分岐とし、かつ水理計算の結果、最高水栓の余裕水頭が5.0m以上確保できるもの。</p><p>2 次の場合は、<u>行き止まり管の</u>口径50mmの本管から分岐できるものとする。</p><p>（1）管理者所有の本管から分岐すること、又は分岐されていること。</p><p>（2）専用住宅（二世帯住宅含む）の申込であること。</p><p>（3）水理計算は、口径75mm以上の分岐箇所から行い、その結果、最高水栓の余裕水頭が5.0m以上確保でき、かつ本管の水量水圧が確保されていること。</p></div><p>3 1棟の1日最大使用水量は44m³/日以下、親メーター口径40mm以下とする。</p></div></div> <div><div>3・6・3 配管及び水道メーター</div><div><p><3階直結直圧式給水計算例></p><p>[例－1] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式）</p><p>①計算条件</p><p><u>・設計水圧は、0.25MPaとする。</u></p><p>[例－2] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式、親メーターなしの場合）</p><p>①計算条件</p><p><u>・設計水圧は、0.25MPaとする。</u></p><p>[例－3] 口径50mmから分岐の場合</p><p>①計算条件</p><p><u>・設計水圧は、0.25MPaとする。</u></p></div></div>	<div>3・6 直結直圧式給水方式</div> <div><div><p>直結直圧式とは、本管の水量、水圧等の供給能力の範囲で、末端給水用具まで給水する方式をいう。直結直圧式の場合、<u>管理者が定める本管の水圧</u>及び給水する高さの範囲で水理計算上可能なものに適用する。また、既設建物において、既設配管をそのまま使用し直結式給水を希望する場合は、3・10「給水方式の切替」による。</p></div><div><p>[解 説]</p><p>設計水圧を調査する必要がある場合は、「水圧調査依頼書（<u>様式－4の5</u>）」により営業所に依頼することができる。</p><p>専用住宅及び共同住宅以外の建物で直結直圧式給水を希望する場合は、3・3・2「受水槽式給水」における適用範囲を勘案の上、「<u>直結直圧式給水条件承諾書（様式－4）</u>」により、申込者に対してその内容を十分説明し、承諾を得ること。</p></div></div> <div><div>3・6・2 適用範囲</div><div><div><p><u>専用住宅、共同住宅、店舗併用住宅、店舗併用共同住宅、事務所ビルで3階直結直圧式給水方式を適用する範囲は、次の条件を満たす場合とする。</u></p><p>1 本管の年間最小動水圧が0.25MPa以上で、口径75mm以上の管からの分岐とし、かつ水理計算の結果、最高水栓の余裕水頭が5.0m以上確保できるもの。</p><p>2 次の場合は、口径50mmの本管から分岐できるものとする。</p><p>（1）管理者所有の本管から分岐すること、又は分岐されていること。</p><p>（2）専用住宅（二世帯住宅含む）の申込であること。</p><p>（3）水理計算は、口径75mm以上の分岐箇所から行い、その結果、最高水栓の余裕水頭が5.0m以上確保でき、かつ本管の水量水圧が確保されていること。</p><p>なお、水理計算方法は3・5・2「口径決定計算の方法」による。</p></div><p>3 1棟の1日最大使用水量は44m³/日以下、親メーター口径40mm以下とする。</p></div></div> <div><div>3・6・3 配管及び水道メーター</div><div><p><3階直結直圧式給水計算例></p><p>[例－1] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式）</p><p>①計算条件</p><p>[例－2] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式、親メーターなしの場合）</p><p>①計算条件</p><p>[例－3] 口径50mmから分岐の場合</p><p>①計算条件</p></div></div>

新	旧										
<p>[例－４] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式、親メーターなしの場合）</p> <p>①計算条件</p> <p>・設計水圧は、0.25MPa とする。</p> <p>[例－５] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式、親メーターなしの場合）</p> <p>①計算条件</p> <p>・設計水圧は、0.25MPa とする。</p> <p>３・７ 直結増圧式給水方式</p> <p>３・７・１ 適用範囲</p> <div><p>6 分岐する本管口径は、原則 φ100 mm以上とし、必要引込管の２倍以上の口径を有する本管から取り出すものとする。ただし、所管する営業所との事前協議を行い、「分岐可」の回答があった場合はこの限りではない。</p></div> <p>[解 説]</p> <p>6について； 1日最大使用水量が80 m³/日（100戸）以下の共同住宅に限り、既設管に影響がない場合は、本管口径 100mm から取り出せるものとする。</p> <p>３・７・３ 給水管口径の決定</p> <div><p>1 給水管の口径は、所定の増圧給水設備で増圧した際に、最上階の管末給水栓の余裕水頭が5.0m 以上となるよう決定すること。損失水頭の計算に当たっては、φ50mm 以下はウェストン公式を、φ50mm を越えるものについてはヘーゼン・ウィリアムス公式を使用すること。</p><p>2 上限流速は、原則として2.0m/sec 以下とする。</p><p>3 設計水圧は、表３－５－１「設計水圧」とする。</p></div> <p>３・７・８ 水道メーター</p> <p><戸数から同時使用水量を予測する算定式による 水理計算例></p> <p>（４）設計水圧</p> <p>・設計水圧は、表３－５－１「設計水圧」とする。</p>	<p>[例－４] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式、親メーターなしの場合）</p> <p>①計算条件</p> <p>[例－５] 共同住宅および店舗併用共同住宅（直読式、親メーターなしの場合）</p> <p>①計算条件</p> <p>３・７ 直結増圧式給水方式</p> <p>３・７・１ 適用範囲</p> <div><p>6 分岐する本管口径はφ100 mm以上とし、必要引込管の２倍以上の口径を有する本管から取り出すものとする。</p><p>ただし、1日最大使用水量が80 m³/日（100戸）以下の共同住宅に限り、既設管に影響がない場合は、本管口径 100mm から取り出せるものとする。</p></div> <p>[解 説]</p> <p>３・７・３ 給水管口径の決定</p> <div><p>1 給水管の口径は、所定の増圧給水設備で増圧した際に、最上階の管末給水栓の余裕水頭が5.0m 以上となるよう決定すること。損失水頭の計算に当たっては、φ50mm 以下はウェストン公式を、φ50mm を越えるものについてはヘーゼン・ウィリアムス公式を使用すること。</p><p>2 上限流速は、原則として2.0m/sec 以下とする。</p><p>3 設計水圧は、次表のとおりとすること。</p><div><p>表３－７－２ 設計水圧</p><table><tr><th>配水管の最小動水圧</th><th>設計水圧</th></tr><tr><td>0.3MPa 以上</td><td>0.3MPa</td></tr><tr><td>0.3MPa 未満 0.25MPa 以上</td><td>0.25MPa</td></tr><tr><td>0.25MPa 未満</td><td>0.15MPa</td></tr><tr><td>0.15MPa 未満</td><td>実測水圧</td></tr></table></div></div> <p>３・７・８ 水道メーター</p> <p><戸数から同時使用水量を予測する算定式による 水理計算例></p> <p>（４）設計水圧</p> <p>・配水管の最小動水圧が0.3MPa 以上の場合は、設計水圧を0.3MPa とする。</p> <p>・配水管の最小動水圧が0.25MPa 以上 0.3MPa 未満の場合は、設計水圧を0.25MPa とする。</p> <p>・配水管の最小動水圧が0.25MPa 未満の場合（3直不可能地域）は、設計水圧を0.15MPa とする。</p> <p>・配水管の最小動水圧が0.15MPa 未満の場合（配水池直下等）は、実測水圧を設計水圧とする。</p>	配水管の最小動水圧	設計水圧	0.3MPa 以上	0.3MPa	0.3MPa 未満 0.25MPa 以上	0.25MPa	0.25MPa 未満	0.15MPa	0.15MPa 未満	実測水圧
配水管の最小動水圧	設計水圧										
0.3MPa 以上	0.3MPa										
0.3MPa 未満 0.25MPa 以上	0.25MPa										
0.25MPa 未満	0.15MPa										
0.15MPa 未満	実測水圧										

新	旧								
<p><居住人数から同時使用水量を予測する算定式による 水理計算例> (4) 設計水圧 ・設計水圧は、表 3－5－1 「設計水圧」とする。</p> <p><水理計算例> 事務所ビルの場合（5階建て床面積 3,000 m²の事務所ビルに直結増圧給水を行う場合） (5) 設計水圧 ・設計水圧は、表 3－5－1 「設計水圧」とする。</p> <p>3・7・9 申請</p> <div>5 事前協議書の写し、<u>「直結（直圧・増圧）式給水条件承諾書（新設・切替）」（様式 - 3）</u>及び「水理計算確認書」（<u>様式 - 3 の 3</u>）を提出すること。 7 同口径の増圧給水設備（増圧ポンプ）のみの取替については、「増圧給水設備（ポンプ）取替届出書」（<u>様式－7 の 2</u>）に必要書類を添付し届出ること。届出書の提出にあたっては、ポンプ性能や逆流防止設備の種別、設置位置などについて事前に水道営業所の確認を受けること。</div> <p>3・7・12 増圧給水設備設置の猶予</p> <div>4 給水管の口径の決定 (3) 設計水圧は、<u>表 3－5－1 「設計水圧」とする。</u></div> <p>8 申請 (3) 事前協議書の写し、水理計算書、水理計算確認書（<u>様式－3 の 3</u>）、増圧給水設備設置の猶予条件承諾書（<u>様式－3 の 2</u>）を提出すること。</p>	<p><居住人数から同時使用水量を予測する算定式による 水理計算例> (4) 設計水圧 ・配水管の最小動水圧が 0.3MPa 以上の場合は、設計水圧を 0.3MPa とする。 ・配水管の最小動水圧が 0.25MPa 以上 0.3MPa 未満の場合は、設計水圧を 0.25MPa とする。 ・配水管の最小動水圧が 0.25MPa 未満の場合（3 直不可能地域）は、設計水圧を 0.15MPa とする。 ・配水管の最小動水圧が 0.15MPa 未満の場合（配水池直下等）は、実測水圧を設計水圧とする。</p> <p><水理計算例> 事務所ビルの場合（5階建て床面積 3,000 m²の事務所ビルに直結増圧給水を行う場合） (5) 設計水圧 ・配水管の最小動水圧が 0.3MPa 以上の場合は、設計水圧を 0.3MPa とする。 ・配水管の最小動水圧が 0.25MPa 以上 0.3MPa 未満の場合は、設計水圧を 0.25MPa とする。 ・配水管の最小動水圧が 0.25MPa 未満の場合（3 直不可能地域）は、設計水圧を 0.15MPa とする。 ・配水管の最小動水圧が 0.15MPa 未満の場合（配水池直下等）は、実測水圧を設計水圧とする。</p> <p>3・7・9 申請</p> <div>5 事前協議書の写し、<u>「直結増圧式給水条件承諾書」（様式 - 4 の 2）</u>及び「水理計算確認書」（<u>様式 - 4 の 4</u>）を提出すること。 7 同口径の増圧給水設備（増圧ポンプ）のみの取替については、「増圧給水設備（ポンプ）取替届出書」（<u>様式－8 の 2</u>）に必要書類を添付し届出ること。届出書の提出にあたっては、ポンプ性能や逆流防止設備の種別、設置位置などについて事前に水道営業所の確認を受けること。</div> <p>3・7・12 増圧給水設備設置の猶予</p> <div>4 給水管の口径の決定 (3) 設計水圧は<u>表 3－7－3 「増圧猶予における設計水圧」に基づくこと。</u></div> <div><p>表 3－7－3 増圧猶予における設計水圧</p><table><tr><th>本管最小動水圧 (MPa)</th><th>設計水圧 (MPa)</th></tr><tr><td><u>0.30 ≤ P < 0.35</u></td><td><u>0.25</u></td></tr><tr><td><u>0.35 ≤ P < 0.40</u></td><td><u>0.30</u></td></tr><tr><td><u>0.40 ≤ P</u></td><td><u>0.35</u></td></tr></table></div> <p>8 申請 (3) 事前協議書の写し、水理計算書、水理計算確認書（<u>様式－4 の 4</u>）、増圧給水設備設置の猶予条件承諾書（<u>様式－4 の 3</u>）を提出すること。</p>	本管最小動水圧 (MPa)	設計水圧 (MPa)	<u>0.30 ≤ P < 0.35</u>	<u>0.25</u>	<u>0.35 ≤ P < 0.40</u>	<u>0.30</u>	<u>0.40 ≤ P</u>	<u>0.35</u>
本管最小動水圧 (MPa)	設計水圧 (MPa)								
<u>0.30 ≤ P < 0.35</u>	<u>0.25</u>								
<u>0.35 ≤ P < 0.40</u>	<u>0.30</u>								
<u>0.40 ≤ P</u>	<u>0.35</u>								

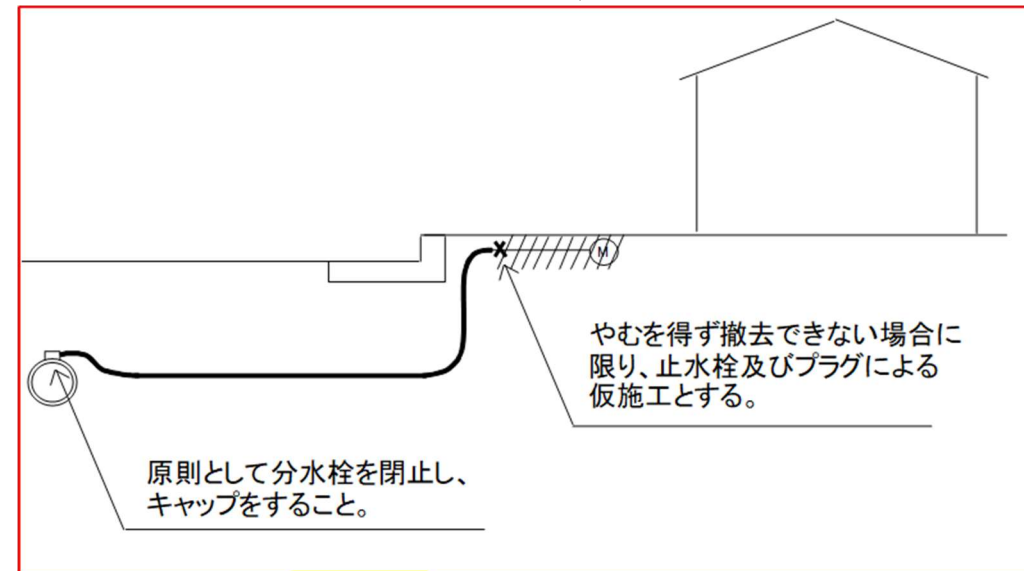
新	旧
<div>図 3-7-8 既存施設の改造例</div> <div><div><div>① 高置水槽以降の配管を利用する例</div><div></div><div>② 高置水槽以降の立管も改造する例</div><div></div><div>③ ポンプ直送方式を改造する例</div><div></div><div><div>凡 例</div><div><div>--- 利用する既存配管</div><div>— 新設配管</div><div>//// 不要となる設備</div><div>○ 受水槽用ポンプ設備</div><div>● 直結増圧装置</div></div></div></div></div> <div>3・8 受水槽式給水方式</div> <div>3・8・4 構造及び配管</div> <div>8 必要最小限（1～2 栓）の直送用（受水槽上流側）の水栓を取引メーター以降に限り設置することができる。ただし、共同住宅等で各戸検針を実施し、震災時の飲料水とする目的で非常用給水栓（受水槽下流側）を設置する場合は、鍵付の給水栓とし「確約書」（様式-9）を提出すること。</div> <div>3・8・5 設計図</div> <div>2 受水槽以下の図面については、次の事項に従うこと。</div> <div><div>（1）使用材料及び構造等が分かるように、図面（配管図等）を提出すること。</div><div>（2）図面（配管図等）の作成は、図 3-8-5「図面作成例」および 4・2・1「設計図の作成」によること。</div><div>（3）各階の戸数が把握できること。</div></div> <div>[解 説]</div> <div>2 について； 図面（配管図等）の提出</div> <tr><td><div>図 3-7-8 既存施設の改造例</div><div><div><div>① 高置水槽以降の配管を利用する例</div><div></div><div>② 高置水槽以降の立管も改造する例</div><div></div><div>③ ポンプ直送方式を改造する例</div><div></div><div><div>凡 例</div><div><div>--- 利用する既存配管</div><div>— 新設配管</div><div>---- 不要となる設備</div><div>○ 受水槽用ポンプ設備</div><div>● 直結増圧装置</div></div></div></div></div><div>3・8 受水槽式給水方式</div><div>3・8・4 構造及び配管</div><div>8 必要最小限（1～2 栓）の直送用（受水槽上流側）の水栓を取引メーター以降に限り設置することができる。ただし、共同住宅等で各戸検針を実施し、震災時の飲料水とする目的で非常用給水栓（受水槽下流側）を設置する場合は、鍵付の給水栓とし「確約書」（様式-11）を提出すること。</div><div>3・8・5 設計図</div><div>2 受水槽以下の図面については、次の事項に従うこと。</div><div><div>（1）使用材料及び構造等が分かるように、図面（配管図等）を提出すること。</div><div>（2）受水槽以下の給水設備は、青の実線で書くこと。</div><div>（3）各階の戸数が把握できること。</div></div><div>[解 説]</div><div>2 について； 図面（配管図等）の提出</div><div>（2）提出する図面（配管図等）は、設計図様式に記入すること。</div></td></tr>	<div>図 3-7-8 既存施設の改造例</div> <div><div><div>① 高置水槽以降の配管を利用する例</div><div></div><div>② 高置水槽以降の立管も改造する例</div><div></div><div>③ ポンプ直送方式を改造する例</div><div></div><div><div>凡 例</div><div><div>--- 利用する既存配管</div><div>— 新設配管</div><div>---- 不要となる設備</div><div>○ 受水槽用ポンプ設備</div><div>● 直結増圧装置</div></div></div></div></div> <div>3・8 受水槽式給水方式</div> <div>3・8・4 構造及び配管</div> <div>8 必要最小限（1～2 栓）の直送用（受水槽上流側）の水栓を取引メーター以降に限り設置することができる。ただし、共同住宅等で各戸検針を実施し、震災時の飲料水とする目的で非常用給水栓（受水槽下流側）を設置する場合は、鍵付の給水栓とし「確約書」（様式-11）を提出すること。</div> <div>3・8・5 設計図</div> <div>2 受水槽以下の図面については、次の事項に従うこと。</div> <div><div>（1）使用材料及び構造等が分かるように、図面（配管図等）を提出すること。</div><div>（2）受水槽以下の給水設備は、青の実線で書くこと。</div><div>（3）各階の戸数が把握できること。</div></div> <div>[解 説]</div> <div>2 について； 図面（配管図等）の提出</div> <div>（2）提出する図面（配管図等）は、設計図様式に記入すること。</div>
<div>図 3-7-8 既存施設の改造例</div> <div><div><div>① 高置水槽以降の配管を利用する例</div><div></div><div>② 高置水槽以降の立管も改造する例</div><div></div><div>③ ポンプ直送方式を改造する例</div><div></div><div><div>凡 例</div><div><div>--- 利用する既存配管</div><div>— 新設配管</div><div>---- 不要となる設備</div><div>○ 受水槽用ポンプ設備</div><div>● 直結増圧装置</div></div></div></div></div> <div>3・8 受水槽式給水方式</div> <div>3・8・4 構造及び配管</div> <div>8 必要最小限（1～2 栓）の直送用（受水槽上流側）の水栓を取引メーター以降に限り設置することができる。ただし、共同住宅等で各戸検針を実施し、震災時の飲料水とする目的で非常用給水栓（受水槽下流側）を設置する場合は、鍵付の給水栓とし「確約書」（様式-11）を提出すること。</div> <div>3・8・5 設計図</div> <div>2 受水槽以下の図面については、次の事項に従うこと。</div> <div><div>（1）使用材料及び構造等が分かるように、図面（配管図等）を提出すること。</div><div>（2）受水槽以下の給水設備は、青の実線で書くこと。</div><div>（3）各階の戸数が把握できること。</div></div> <div>[解 説]</div> <div>2 について； 図面（配管図等）の提出</div> <div>（2）提出する図面（配管図等）は、設計図様式に記入すること。</div>	

新	旧
<div>3・10・3 既設管の水質試験</div> <div><div><div>1 更生工事を実施していない給水設備から、直結給水方式に切り替える場合 水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は<u>国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けた者</u>による、表3-10-1に規定する項目の水質試験</div><div>2 更生工事を施工した記録により、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が明らかな場合 表3-10-1に規定する項目及び更生工事に使用された塗料により表3-10-2に規定する項目を水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は<u>国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けた者</u>による水質試験</div><div>3 更生工事を施工した履歴はあるが、ライニングに使用された塗料・工法・施工状況が確認できない場合 ライニングされた既設給水管の一部をサンプリングし、それを供試体として水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は<u>国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けた者</u>にて浸出性能試験を実施することとし、試験項目については、「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」別表第1のすべてとする。</div></div></div> <div>[解 説] 3について； 既設給水管のサンプリングが困難で、浸出性能試験が実施出来ない場合は、現地にて水道水を16時間滞留させた水（給水設備のライニングされた管路内の水であって、受水槽等の水が混入していないもの）を採取するとともに、管路内の水をすべて入れ替えた後の水を対照水（ブランク）として採取し、水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は<u>国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けた者</u>にて水質検査を行う。</div> <div>3・12 事前協議</div> <div><div>3・12・1 適用範囲</div><div>[解 説] なお、事前協議対象外の給水装置工事であっても、設計にあたり本管水圧の確認が必要な場合は、「水圧調査依頼書」（<u>様式-3の4</u>）により行うことができる。</div></div> <div>3・12・2 協議について</div> <div><div>1 事前協議の申込みは、「県営水道給水関係事前協議書」（<u>様式-1</u>）及び「県営水道給水関係事前協議書（特別給水装置工事）」（<u>様式-1の2</u>）に必要事項を記載し、3・12・3「添付書類」に記載の必要書類を添付し、計画地を所管する営業所へ[正][副]各1部提出すること。</div></div>	<div>3・10・3 既設管の水質試験</div> <div><div><div>1 更生工事を実施していない給水設備から、直結給水方式に切り替える場合 水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者による、表3-10-1に規定する項目の水質試験</div><div>2 更生工事を施工した記録により、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が明らかな場合 表3-10-1に規定する項目及び更生工事に使用された塗料により表3-10-2に規定する項目を水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者による水質試験</div><div>3 更生工事を施工した履歴はあるが、ライニングに使用された塗料・工法・施工状況が確認できない場合 ライニングされた既設給水管の一部をサンプリングし、それを供試体として水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者にて浸出性能試験を実施することとし、試験項目については、「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」別表第1のすべてとする。</div></div></div> <div>[解 説] 3について； 既設給水管のサンプリングが困難で、浸出性能試験が実施出来ない場合は、現地にて水道水を16時間滞留させた水（給水設備のライニングされた管路内の水であって、受水槽等の水が混入していないもの）を採取するとともに、管路内の水をすべて入れ替えた後の水を対照水（ブランク）として採取し、水道法第20条第3項に規定する地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者にて水質検査を行う。</div> <div>3・12 事前協議</div> <div><div>3・12・1 適用範囲</div><div>[解 説] なお、事前協議対象外の給水装置工事であっても、設計にあたり本管水圧の確認が必要な場合は、「水圧調査依頼書」（<u>様式-4の5</u>）により行うことができる。</div></div> <div>3・12・2 協議について</div> <div><div>1 事前協議の申込みは、「県営水道給水関係事前協議書」（<u>様式-2</u>）及び「県営水道給水関係事前協議書（特別給水装置工事）」（<u>様式-2の2</u>）に必要事項を記載し、3・12・3「添付書類」に記載の必要書類を添付し、計画地を所管する営業所へ[正][副]各1部提出すること。</div></div>

3・13・3 給水装置の撤去

[解説]

図3-13-2 給水装置の撤去位置



3・13・4 撤去工事の費用負担区分

(1) 単一の給水装置の場合

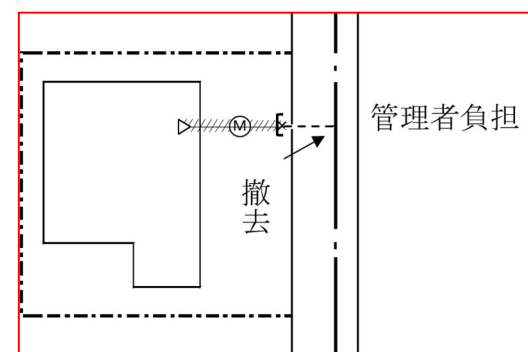
[解説]

(具体例)

1 管理者負担の場合

給水装置が不要となった場合の撤去

図3-13-3

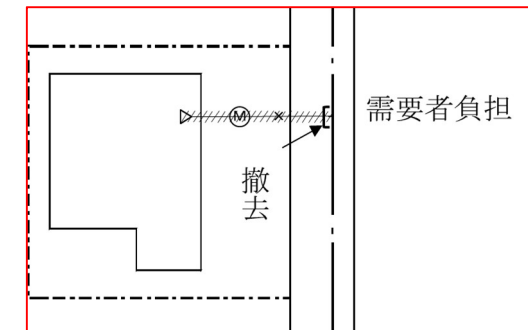


2 需用者負担の場合

既設管が不要となった場合の撤去

(1) 家屋の建替えのため、需要者の都合により一時撤去する場合

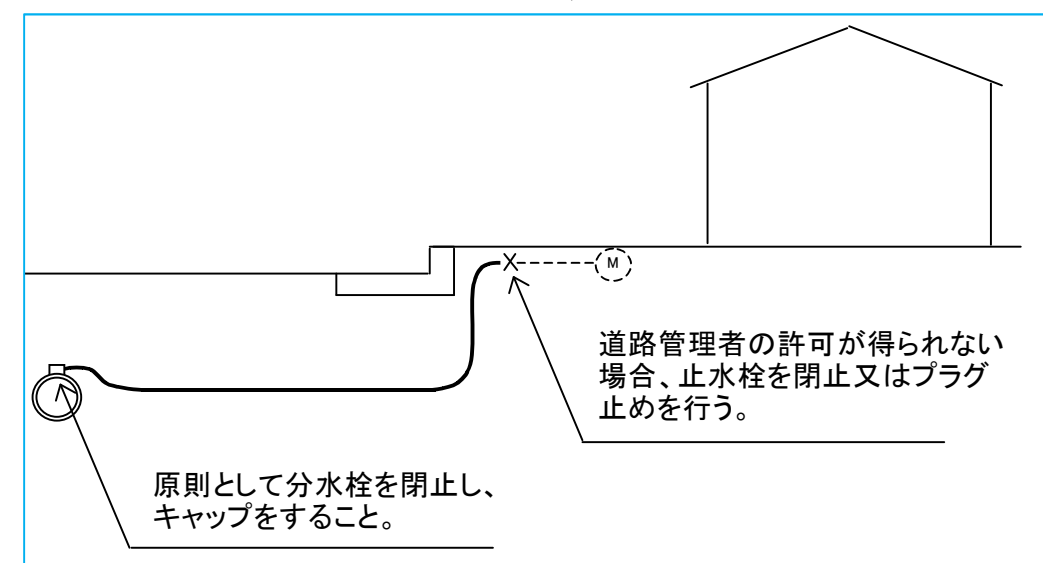
図3-13-4



3・13・3 給水装置の撤去

[解説]

図3-13-2 給水装置の撤去位置



3・13・4 撤去工事の費用負担区分

(1) 単一の給水装置の場合

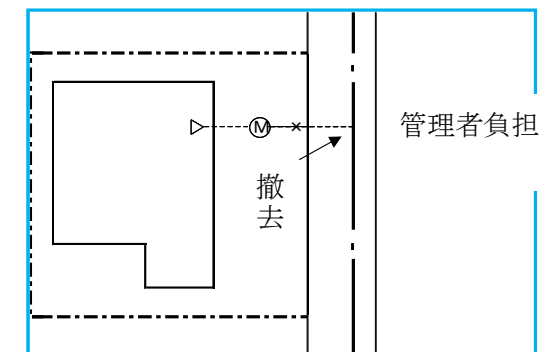
[解説]

(具体例)

1 管理者負担の場合

給水装置が不要となった場合の撤去

図3-13-3

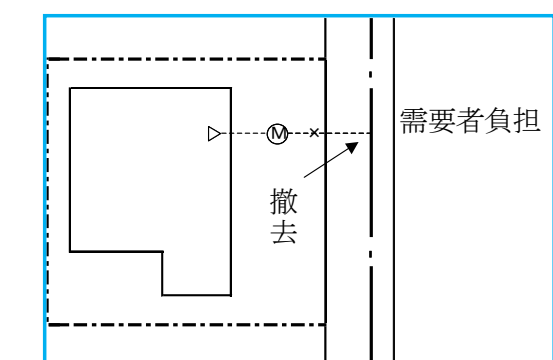


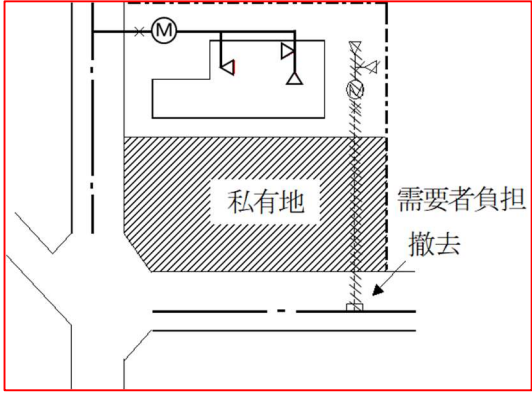
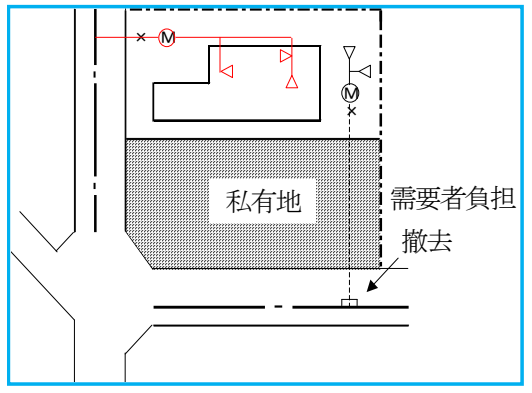
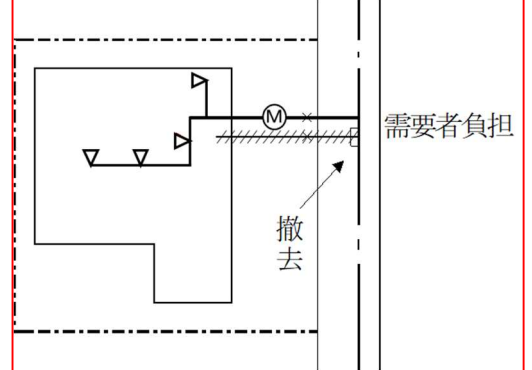
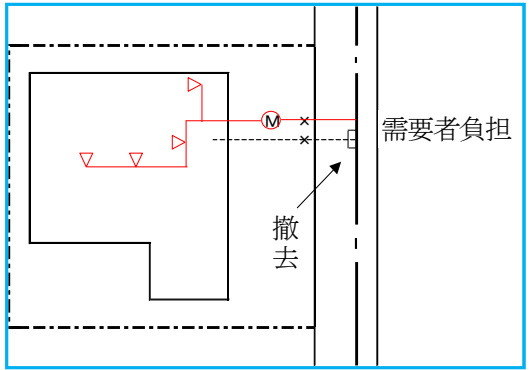
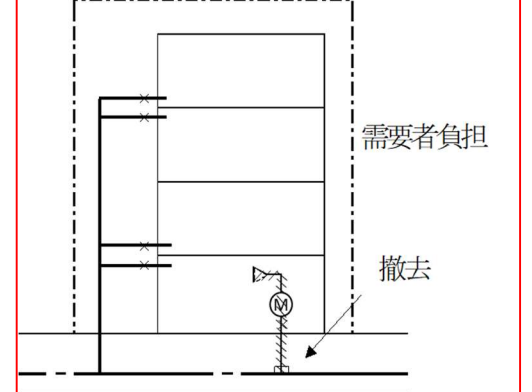
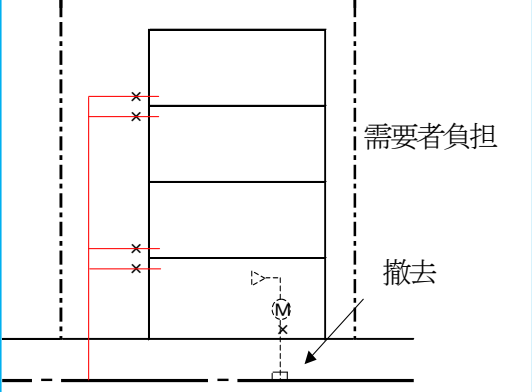
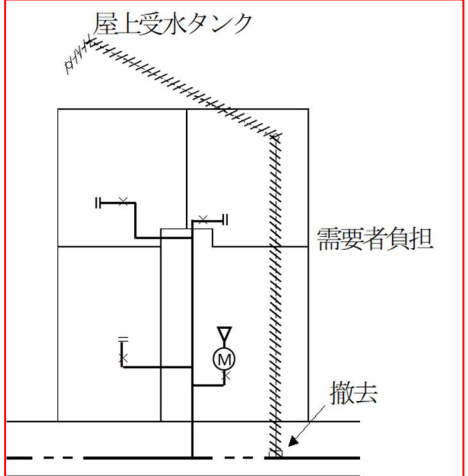
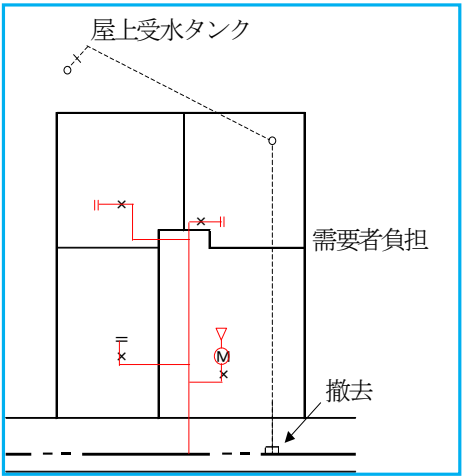
2 需用者負担の場合

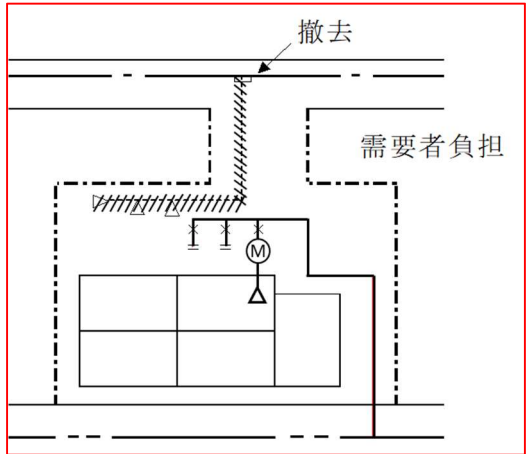
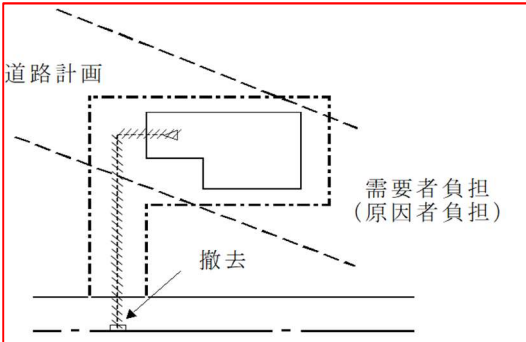
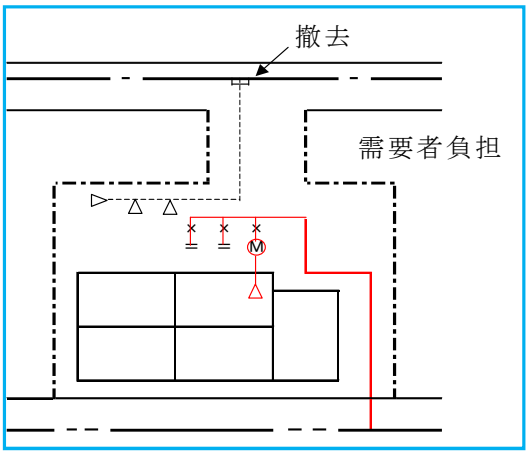
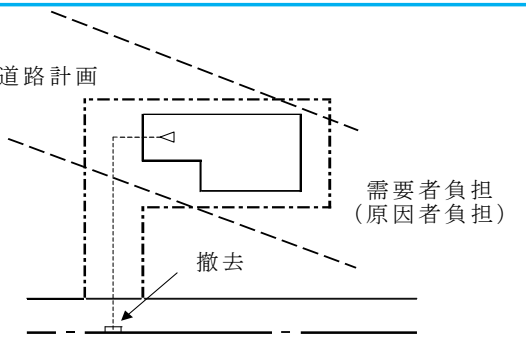
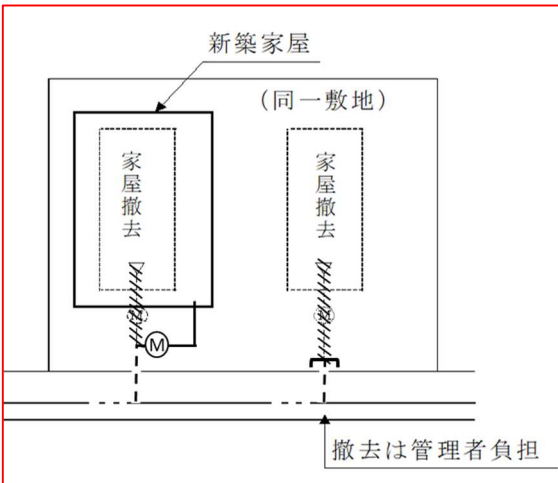
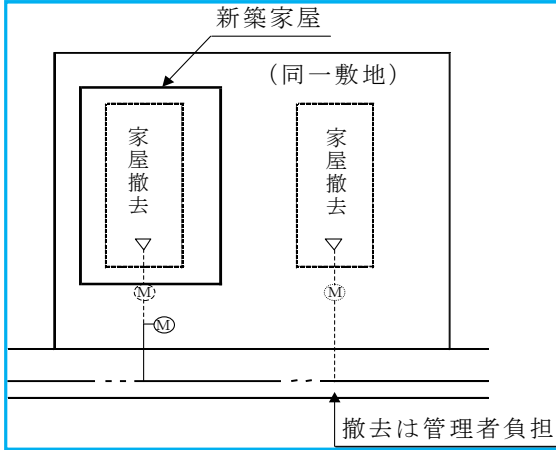
既設管が不要となった場合の撤去

(1) 家屋の建替えのため、需要者の都合により一時撤去する場合

図3-13-4



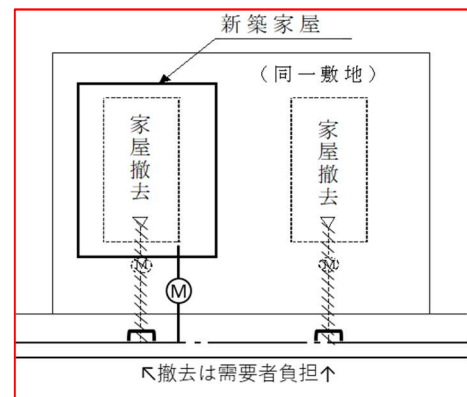
新	旧
<p>(2) 家屋の改造に伴い、分岐箇所を変更する場合</p> <p>図 3-13-5</p> 	<p>(2) 家屋の改造に伴い、分岐箇所を変更する場合</p> <p>図 3-13-5</p> 
<p>(3) 家屋の改造に伴い、増径する場合</p> <p>図 3-13-6</p> 	<p>(3) 家屋の改造に伴い、増径する場合</p> <p>図 3-13-6</p> 
<p>(4) 一時用として分岐していた個所を変更して家事用の給水管を取り出す場合</p> <p>図 3-13-7</p> 	<p>(4) 一時用として分岐していた個所を変更して家事用の給水管を取り出す場合</p> <p>図 3-13-7</p> 
<p>(5) 受水槽給水していた管を一時用として使用し、その後各戸に直結給水する場合</p> <p>図 3-13-8</p> 	<p>(5) 受水槽給水していた管を一時用として使用し、その後各戸に直結給水する場合</p> <p>図 3-13-8</p> 

新	旧
<p>(6) 一戸のみの給水改造により各戸に給水するため、取出し配水管を変えて取り出す場合</p> <p>図3-13-9</p>  <p>図3-13-10</p> 	<p>(6) 一戸のみの給水改造により各戸に給水するため、取出し配水管を変えて取り出す場合</p> <p>図3-13-9</p>  <p>図3-13-10</p> 
<p>(2) 同一敷地内に複数の給水装置がある場合</p> <p>[解 説]</p> <p>2 (1) について；</p> <p>図3-13-12</p> 	<p>(2) 同一敷地内に複数の給水装置がある場合</p> <p>[解 説]</p> <p>2 (1) について；</p> <p>図3-13-12</p> 

新

2 (2) について ;

図 3-13-13

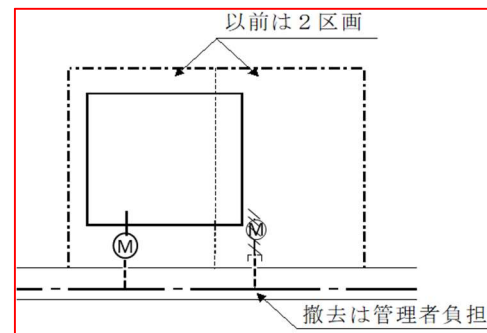


(3) 同一敷地内に複数の給水管取出しがある場合

[解 説]

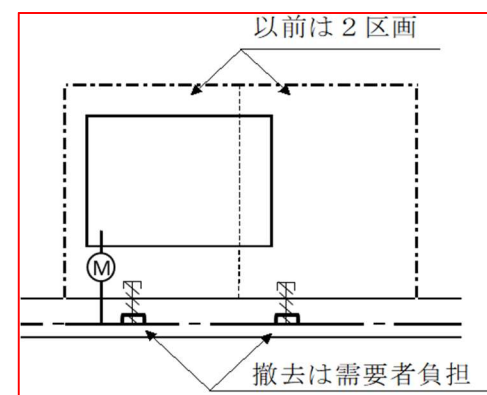
1 について ;

図 3-13-14



2 について ;

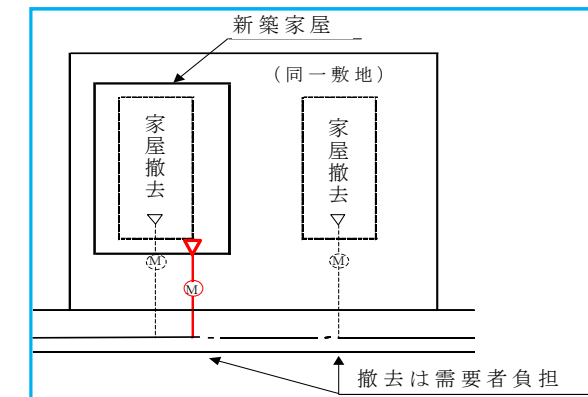
図 3-13-15



旧

2 (2) について ;

図 3-13-13

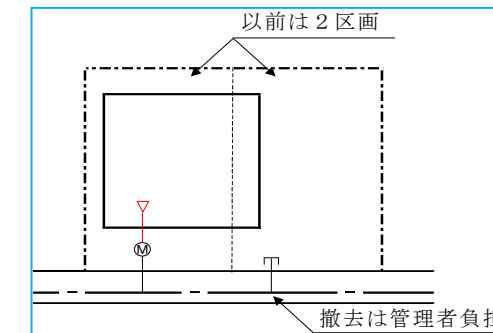


(3) 同一敷地内に複数の給水管取出しがある場合

[解 説]

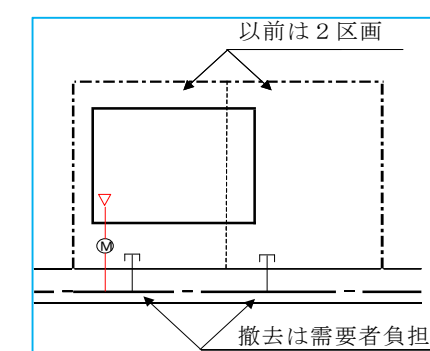
1 について ;

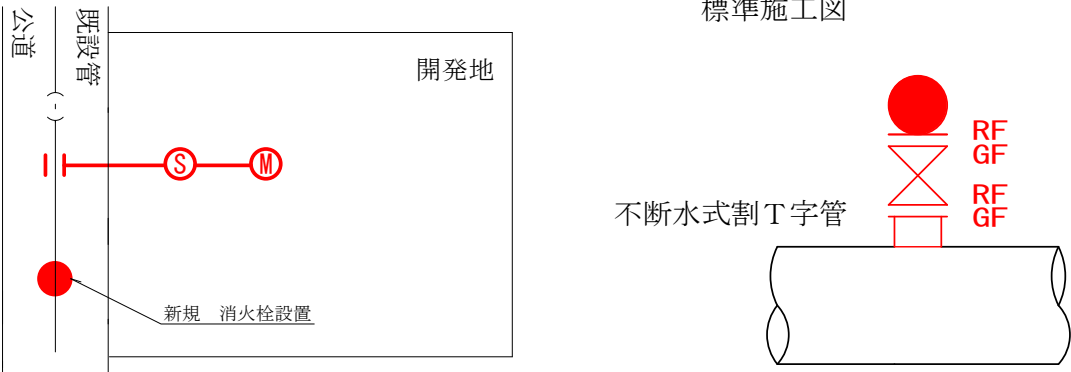
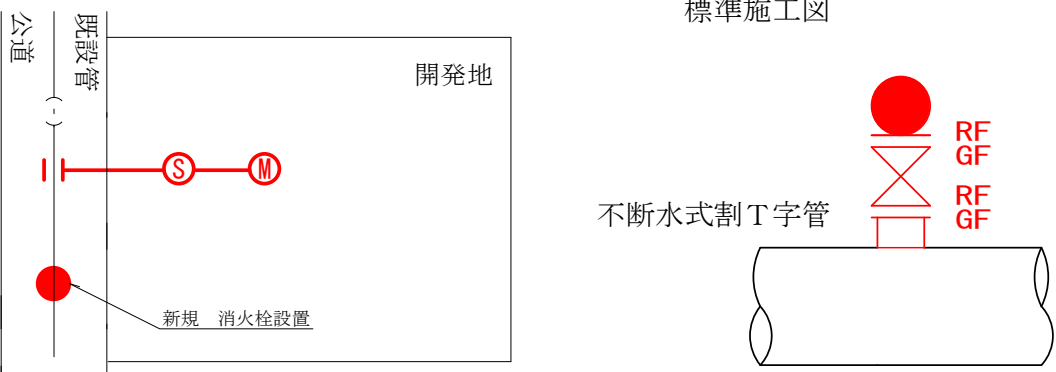
図 3-13-14



2 について ;

図 3-13-15



新	旧																																																
<div>3・15 消防用設備</div> <div>[解 説]</div> <div>図3－15－2 私設消火栓の申請方法</div> <div>(4) 市町への開発行為申請の許可条件とされ、公道内の既設水道管に消火栓を設置する場合、私設消火栓の新設工事として申請する。また、のちに公設消火栓の新設工事として申請する。また、のちに公設消火栓として取り扱うため、<u>「消防水利の基準（昭和39年、消防庁告示第7号）」に基づき設置し、別途営業所と事前に協議を行うこと。なお、</u>寄附物件の申込み及び所管の消防署からの設置確認を受けるものに限る。</div> <div></div> <div>3・16 給水装置用材料</div> <div>3・16・1 基本的要件</div> <div>表3－16－1 認証品確認のためのURL一覧</div> <table><tr><th>国土交通省</th><th></th></tr><tr><td>給水装置データベース</td><td>https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/watersupply/mizukokudo_watersupply_tk_000001_00005.html</td></tr><tr><th>日本水道協会（JWWA）</th><th></th></tr><tr><td>JWWA 検査事業</td><td>http://www.jwwa.or.jp/kensa_index.html</td></tr><tr><td>JWWA 品質認証センター</td><td>http://www.jwwa.or.jp/ninsyo_index.html</td></tr><tr><td>JWWA 認証登録品検索ページ</td><td>http://nc.jwwa.or.jp:8080/jwwa_hp/HL0101/HL0101N010Action.do</td></tr><tr><th>その他第三者認証機関</th><th></th></tr><tr><td>日本水道協会（JWWA）</td><td>http://www.jwwa.or.jp/</td></tr><tr><td>日本燃焼機器検査協会（JHIA）</td><td>http://www.jhia.or.jp/</td></tr><tr><td>電気安全環境研究所（JET）</td><td>http://www.jet.or.jp/</td></tr><tr><td>日本ガス機器検査協会（JIA）</td><td>http://www.jia-page.or.jp/</td></tr><tr><td>UL Japan</td><td>http://japan.ul.com/</td></tr></table>	国土交通省		給水装置データベース	https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/watersupply/mizukokudo_watersupply_tk_000001_00005.html	日本水道協会（JWWA）		JWWA 検査事業	http://www.jwwa.or.jp/kensa_index.html	JWWA 品質認証センター	http://www.jwwa.or.jp/ninsyo_index.html	JWWA 認証登録品検索ページ	http://nc.jwwa.or.jp:8080/jwwa_hp/HL0101/HL0101N010Action.do	その他第三者認証機関		日本水道協会（JWWA）	http://www.jwwa.or.jp/	日本燃焼機器検査協会（JHIA）	http://www.jhia.or.jp/	電気安全環境研究所（JET）	http://www.jet.or.jp/	日本ガス機器検査協会（JIA）	http://www.jia-page.or.jp/	UL Japan	http://japan.ul.com/	<div>3・15 消防用設備</div> <div>[解 説]</div> <div>図3－15－2 私設消火栓の申請方法</div> <div>(4) 市町への開発行為申請の許可条件とされ、公道内の既設水道管に消火栓を設置する場合、私設消火栓の新設工事として申請する。また、のちに公設消火栓として取り扱うため、寄附物件の申込み及び所管の消防署からの設置確認を受けるものに限る。</div> <div></div> <div>3・16 給水装置用材料</div> <div>3・16・1 基本的要件</div> <div>表3－16－1 認証品確認のためのURL一覧</div> <table><tr><th>厚生労働省</th><th></th></tr><tr><td>給水装置データベース</td><td>https://www.mhlw.go.jp/kyusuidb/index.action</td></tr><tr><th>日本水道協会（JWWA）</th><th></th></tr><tr><td>JWWA 検査事業</td><td>http://www.jwwa.or.jp/kensa_index.html</td></tr><tr><td>JWWA 品質認証センター</td><td>http://www.jwwa.or.jp/ninsyo_index.html</td></tr><tr><td>JWWA 認証登録品検索ページ</td><td>http://nc.jwwa.or.jp:8080/jwwa_hp/HL0101/HL0101N010Action.do</td></tr><tr><th>その他第三者認証機関</th><th></th></tr><tr><td>日本水道協会（JWWA）</td><td>http://www.jwwa.or.jp/</td></tr><tr><td>日本燃焼機器検査協会（JHIA）</td><td>http://www.jhia.or.jp/</td></tr><tr><td>電気安全環境研究所（JET）</td><td>http://www.jet.or.jp/</td></tr><tr><td>日本ガス機器検査協会（JIA）</td><td>http://www.jia-page.or.jp/</td></tr><tr><td>UL Japan</td><td>http://japan.ul.com/</td></tr></table>	厚生労働省		給水装置データベース	https://www.mhlw.go.jp/kyusuidb/index.action	日本水道協会（JWWA）		JWWA 検査事業	http://www.jwwa.or.jp/kensa_index.html	JWWA 品質認証センター	http://www.jwwa.or.jp/ninsyo_index.html	JWWA 認証登録品検索ページ	http://nc.jwwa.or.jp:8080/jwwa_hp/HL0101/HL0101N010Action.do	その他第三者認証機関		日本水道協会（JWWA）	http://www.jwwa.or.jp/	日本燃焼機器検査協会（JHIA）	http://www.jhia.or.jp/	電気安全環境研究所（JET）	http://www.jet.or.jp/	日本ガス機器検査協会（JIA）	http://www.jia-page.or.jp/	UL Japan	http://japan.ul.com/
国土交通省																																																	
給水装置データベース	https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/watersupply/mizukokudo_watersupply_tk_000001_00005.html																																																
日本水道協会（JWWA）																																																	
JWWA 検査事業	http://www.jwwa.or.jp/kensa_index.html																																																
JWWA 品質認証センター	http://www.jwwa.or.jp/ninsyo_index.html																																																
JWWA 認証登録品検索ページ	http://nc.jwwa.or.jp:8080/jwwa_hp/HL0101/HL0101N010Action.do																																																
その他第三者認証機関																																																	
日本水道協会（JWWA）	http://www.jwwa.or.jp/																																																
日本燃焼機器検査協会（JHIA）	http://www.jhia.or.jp/																																																
電気安全環境研究所（JET）	http://www.jet.or.jp/																																																
日本ガス機器検査協会（JIA）	http://www.jia-page.or.jp/																																																
UL Japan	http://japan.ul.com/																																																
厚生労働省																																																	
給水装置データベース	https://www.mhlw.go.jp/kyusuidb/index.action																																																
日本水道協会（JWWA）																																																	
JWWA 検査事業	http://www.jwwa.or.jp/kensa_index.html																																																
JWWA 品質認証センター	http://www.jwwa.or.jp/ninsyo_index.html																																																
JWWA 認証登録品検索ページ	http://nc.jwwa.or.jp:8080/jwwa_hp/HL0101/HL0101N010Action.do																																																
その他第三者認証機関																																																	
日本水道協会（JWWA）	http://www.jwwa.or.jp/																																																
日本燃焼機器検査協会（JHIA）	http://www.jhia.or.jp/																																																
電気安全環境研究所（JET）	http://www.jet.or.jp/																																																
日本ガス機器検査協会（JIA）	http://www.jia-page.or.jp/																																																
UL Japan	http://japan.ul.com/																																																

新	旧
<div data-bbox="198 184 406 226">第 4 章 手続き</div> <div data-bbox="198 258 736 300">4・1 給水装置工事の申込み・申請等</div> <div data-bbox="198 331 468 373">4・1・2 申請</div> <div data-bbox="198 384 326 426">[解 説]</div> <div data-bbox="198 426 1472 604"><p>1 について；.</p><p>(1) 申請書は管理者指定の用紙を使用すること。</p><p><u>(2) 設計図の用紙は日本産業規格 A 4 版 (210mm×297mm)、A 3 版 (297mm×420mm) として、紙の種類等は 4・2・1 設計図の作成を参照すること。</u></p><p><u>(3) その他必要な書類は、4・1・6 「その他必要な書類」を参照すること。</u></p></div> <div data-bbox="198 636 528 678">4・1・3 申請区分</div> <div data-bbox="198 688 326 730">[解 説]</div> <div data-bbox="198 730 1472 1182"><p>1 及び 2 について；</p><p>(2) 共同住宅等の申請は、<u>次の通りとする。なお、設計図の記入については、4・2・1 「設計図の作成」によること。</u></p><p><u>ア 直結直圧式による場合（共同住宅一括の申請）</u> <u>申請は設置するメーター毎に行い、次に沿って作成すること。</u></p><p><u>(ア) 親栓番と子栓番の複数申請を同時に提出すること。</u></p><p><u>(イ) 親栓番の申請は、設計図に当該建物内給水装置の全体と、建物内給水装置の全部が明確となる系統図を作成すること。</u></p><p><u>(ウ) 子栓番の申請は、親栓番の設計図に給水装置が図示されていることを申請書に記載し、設計図は不要とする。(例：「給水装置の状況については、水栓番号〇〇〇〇〇〇の申請に図示。」などを記入する。)</u></p><p><u>イ 直結増圧式、受水槽式、直結・受水槽併用式、直結直圧式へ切替え等による場合</u> <u>「共同住宅等の給水事務取扱要綱」によること。</u></p></div> <div data-bbox="753 1182 908 1224">図 4－1－1</div> <div data-bbox="397 1234 1267 1596"></div> <div data-bbox="198 1627 736 1669">4・1・4 申請書及び設計図の記載</div> <div data-bbox="237 1701 1442 1917"><div>1 申請書の記入については、黒のインクで楷書にて記載すること。</div><div>2 申請書（写しを除く）は、修正液の使用及び切り貼り等はしないこと。</div><div>3 設計図の記入については、4・2・1 「設計図の作成」によること。</div></div>	<div data-bbox="1472 184 1679 226">第 4 章 手続き</div> <div data-bbox="1472 258 2009 300">4・1 給水装置工事の申込み・申請等</div> <div data-bbox="1472 331 1742 373">4・1・2 申請</div> <div data-bbox="1472 384 1599 426">[解 説]</div> <div data-bbox="1472 426 2745 604"><p>1 について；</p><p>(1) 申請書及び設計図は管理者指定の用紙を使用すること。</p><p>(2) その他必要な書類は、4・1・6 「その他必要な書類」を参照すること。</p></div> <div data-bbox="1472 636 1801 678">4・1・3 申請区分</div> <div data-bbox="1472 688 1599 730">[解 説]</div> <div data-bbox="1472 730 2745 1045"><p>1 及び 2 について；</p><p>(2) 共同住宅等の申請は、「共同住宅等の給水事務取扱要綱」において、当該適用を受ける場合にあっては一括で申請し、適用を受けない場合にあっては設置するメーター毎に申請すること。</p><p>なお、メーター毎に申請する場合において、親栓番となる申請書に当該建物内給水装置の全部を図示し、子栓番となる申請書には親栓番となる申請書に給水装置を図示している旨を明記することで図面の作成を省略できる。(例：「給水装置の状況については、水栓番号〇〇〇〇〇〇の申請に図示。」などを記入する。) この場合、親栓番となる申請書には建物内給水装置の全部が明確となる系統図等も作成すること。また、子栓番となる申請書には設計図様式 1 (M) に位置図を作成し、道路状況等の取出図は不要とする。これを共同住宅一括という。</p></div> <div data-bbox="2024 1182 2178 1224">図 4－1－1</div> <div data-bbox="1638 1224 2599 1570"></div> <div data-bbox="1472 1627 2009 1669">4・1・4 申請書及び設計図の記載</div> <div data-bbox="1513 1701 2706 1917"><div>1 申請書の記入については、黒のインクで楷書にて記載すること。</div><div>2 設計図の記入については、4・2・1 「設計図の作成」によること。</div><div>3 申請書及び設計図（写しを除く）は、剥離等を防止するため、修正液の使用及び切り貼り等はしないこと。</div></div>

新	旧		
4・1・5 記載の方法	4・1・5 記載の方法		
<div data-bbox="448 268 1234 1507"><div data-bbox="448 268 649 325">設計図様式 1 (A4)</div><div data-bbox="658 268 1083 919"><div data-bbox="697 289 777 310">(設計図様式 1)</div><div data-bbox="697 325 1038 871"><div data-bbox="727 378 756 399">⑳</div><div data-bbox="964 367 994 388">㉑</div><div data-bbox="964 399 994 420">㉒</div></div></div><div data-bbox="448 930 649 976">設計図様式 2 (A3)</div><div data-bbox="510 976 1234 1507"><div data-bbox="549 997 629 1018">(設計図様式 2)</div><div data-bbox="549 1029 1181 1480"><div data-bbox="578 1039 608 1060">㉓</div></div></div></div> <p data-bbox="222 1570 379 1602">㉔について；</p> <p data-bbox="819 1606 872 1633">中略</p> <p data-bbox="222 1642 1469 1745">また、共同住宅一括の申請における子栓番の申請書においては、当該欄の「料金徴収先」の文字に取消線を加え、空欄には「給水装置の状況については、水栓番号〇〇〇〇〇〇の申請に図示。」などを記入すること。記入については、4・2・1「設計図の作成」によること。</p> <p data-bbox="819 1785 872 1812">中略</p> <p data-bbox="222 1854 1308 1921">㉕について； 申請場所の管網図メッシュ番号等を上部に記入すること。 ㉖について； 申請場所の住宅地図のページ及びメッシュ番号等を上部に記入すること。</p>	<div data-bbox="1641 268 2576 1480"><div data-bbox="1641 289 1771 304">(設計図様式 1)</div><table border="1" data-bbox="1641 304 2576 336"><tr><td data-bbox="1641 304 2062 336">管網図 ㉕</td><td data-bbox="2062 304 2576 336">案内図 ㉖</td></tr></table><div data-bbox="1736 378 1789 399">(方眼)</div><div data-bbox="1751 441 1780 462">㉗</div></div> <p data-bbox="1498 1533 1656 1564">㉔について；</p> <p data-bbox="2098 1570 2151 1598">中略</p> <p data-bbox="1498 1854 2507 1921">㉕について； 申請場所の管網図メッシュ番号等を記入すること。 ㉖について； 申請場所の住宅地図のページ及びメッシュ番号等を記入すること。</p>	管網図 ㉕	案内図 ㉖
管網図 ㉕	案内図 ㉖		

新	旧
<div>4・1・6　　その他必要な書類</div> <div>[解　説] 2について； （２）証明書添付の必要がない場合は、「申請書」の備考欄に「証明書等不要」と<u>記入し</u>、申請者の名称等を記名すること。なお、一時用又は一時用㊥からの改造工事で、申請時に確認済証が提出されており、内容に変更がない場合は、確認済証の添付を省略することができ、「申請書」の備考欄に「確認済証提出済」と<u>記入し</u>、申請者の名称等を記名すること。ただし、「4・1・5　記載の方法」㊦に確認済証番号を記入すること。証明書の必要のないものは、おおむね次のとおり。</div> <div>9について；　申請内容や目的によって必要な関係書類を添付すること。また、次の書類は、「4・1・5　記載の方法」㊦に該当するものを記入すること。</div> <div><div><div><u>（１）「様式－３」直結（直圧・増圧）式給水条件承諾書（新設・切替）</u></div><div><u>（２）「様式－３の２」</u>増圧給水設備の猶予条件承諾書（新設・切替） <u>（３）「様式－３の３」</u>水理計算確認書 <u>（４）「様式－４」</u>誓約書 <u>（５）「様式－５」</u>同意書</div><div><u>（６）「様式－９」</u>確約書 <u>（７）「様式－10」</u>水道直結式スプリンクラー設備の設置に係る誓約書 <u>（８）</u>水道利用加入金（減額・免除）申請書 <u>（９）</u>その他</div></div></div> <div>4・1・8　　変更・取消しの手続き</div> <div><div>1　承認を受けた給水装置工事を変更するときは、すみやかにその旨を届け出て承認を受けるものとする。 2　申込みをした給水装置工事を取り消すときは、申込者はすみやかに管理者に「給水装置工事申込取消届」（<u>様式－６</u>）を提出しなければならない。</div></div> <div>4・1・9　　修理工事の報告</div> <div>[解　説] 1　修理工事において、水道メーター位置を変更する場合は、図面を修正すること。ただし、修正にあたっては、営業所と協議すること。 2　毎月末をもって集計し、「給水装置修理報告書」(<u>様式－７</u>)を作成し、翌月１０日までに営業所に報告（ＦＡＸ可）すること。記入例は、次のとおり。</div> <div>4・2　給水装置工事の設計図</div> <div>4・2・1　設計図の作成</div>	<div>4・1・6　　その他必要な書類</div> <div>[解　説] 2について； （２）証明書添付の必要がない場合は、「申請書」の備考欄に「証明書等不要」と<u>朱書きし</u>、申請者の名称等を記名すること。なお、一時用又は一時用㊥からの改造工事で、申請時に確認済証が提出されており、内容に変更がない場合は、確認済証の添付を省略することができ、「申請書」の備考欄に「確認済証提出済」と<u>朱書きし</u>、申請者の名称等を記名すること。ただし、「4・1・5　記載の方法」㊦に確認済証番号を記入すること。証明書の必要のないものは、おおむね次のとおり。</div> <div>9について；　申請内容や目的によって必要な関係書類を添付すること。また、次の書類は、「4・1・5　記載の方法」㊦に該当するものを記入すること。</div> <div><div><div>（１）「様式－１」既設建物に関わる維持管理届</div><div>（２）「様式－４」直結直圧式給水条件承諾書（新設・切替） （３）「様式－４の２」直結増圧式給水条件承諾書（新設・切替） （４）「様式－４の３」増圧給水設備の猶予条件承諾書（新設・切替） （５）「様式－４の４」水理計算確認書 （６）「様式－５」誓約書 （７）「様式－６」同意書 （８）「様式－９」給水装置工事に伴う道路復旧工事施工条件承諾書 （９）「様式－11」確約書 （10）「様式－12」水道直結式スプリンクラー設備の設置に係る誓約書 （11）水道利用加入金（減額・免除）申請書 （12）その他</div><div>（６）「様式－９」確約書 （１１）水道利用加入金（減額・免除）申請書 （１２）その他</div></div></div> <div>4・1・8　　変更・取消しの手続き</div> <div><div>1　承認を受けた給水装置工事を変更するときは、すみやかにその旨を届け出て承認を受けるものとする。 2　申込みをした給水装置工事を取り消すときは、申込者はすみやかに管理者に「給水装置工事申込取消届」（様式－７）を提出しなければならない。</div></div> <div>4・1・9　　修理工事の報告</div> <div>[解　説] 1　修理工事において、水道メーター位置を変更する場合は、図面を修正すること。ただし、修正にあたっては、営業所と協議すること。 2　毎月末をもって集計し、「給水装置修理報告書」（様式－８）を作成し、翌月１０日までに営業所に報告（ＦＡＸ可）すること。記入例は、次のとおり。</div> <div>4・2　給水装置工事の設計図</div> <div>4・2・1　設計図の作成</div>

新

設計図の平面図、立体図、位置図等は、統一された線、文字、記号により表現することとし、作成方法は、次のとおりとする。

1 筆記用具

黒の鉛筆やインク等を使用すること。

2 用 紙

(1) 設計図様式 1（A4）または設計図様式 2（A3）に記載し、申請書に添付すること。

(2) 用紙の規格は、日本産業規格 A 4 版、A 3 版として、紙質は上質紙、再生紙等（白色度 70%以上、厚さ 0.08～0.1mm 程度）とする。寸法は 4・1・5 記載方法を参照し、背景に方眼を使用する場合は、複写時に方眼が読み取りに支障とならないよう、複写に影響しない色合いとすること。

中略

4 線及び文字

(1) 新設する給水装置は、実線で書くこと。ただし、同図に既設管や撤去管が有る場合は、それらの線よりも太く書くこと。

(2) 撤去する給水装置は、実線を斜線で消すように書くこと。ただし、水道メーターより下流側の給水装置を全て撤去する場合は、省略することができる。

(3) 既設の給水装置は、破線で書くこと。

(4) 受水槽及び井水からの切替配管は、一点鎖線で書き、「受水槽切替」「井水切替」と記入すること。

(5) 受水槽以下及び井戸配管は、上の（1）～（4）を記載した平面図と別に平面図を追加し、そちらに実線で書くこと。また、表題には「受水槽以下配管」、「井戸配管」と記入すること。

(6) 寸法、文字及び給水装置以外の記号は、図形に適した大きさと書くこと。

(7) 自己認証品を使用するときは、給水装置等の記号から、引出線を記入し「自己認証品」と記入すること。

(8) 「自己認証品と記入のないものは、規格品又は第三者認証品である。」と明記すること。

中略

6 給水装置記号

(4) 給水管の記号

表 4－2－6

名称	新設	既設	撤去	切替配管
線別	実線	破線	実線を斜線で消す	一点鎖線
記入例	————	-----	#####—	- . - . -

中略

8 位 置 図

(2) 工事場所の字、及び引出し線を加え「申請地」と書くこと。

中略

旧

設計図の平面図、立体図、位置図等は、統一された線、文字、記号により表現することとし、作成方法は、次のとおりとする。

1 筆記用具

鉛筆やインク等を使用すること。

2 用 紙

(1) 管理者指定の用紙を使用すること。

(2) 設計図様式 1（A4）または設計図様式 2（A3）を使用し、申請書に添付すること。

中略

4 線及び文字

(1) 新設する給水装置は、赤の実線で書くこと。ただし、同図に既設管や撤去管が有る場合は、それらの線よりも太く書くこと。

(2) 撤去する給水装置は、黒の破線で書くこと。ただし、水道メーターより下流側の給水装置を全て撤去する場合は、省略することができる。

(3) 既設の給水装置は、黒の実線で書くこと。

(4) 井水及び受水槽からの切替配管は、赤の破線で書き、「井水切替」「受水槽切替」と記入すること。

(5) 井戸配管は、青の破線で書き、「井戸配管」と記入すること。

(6) 寸法、文字及び給水装置以外の記号は、すべて黒で図形に適した大きさと書くこと。

(7) 自己認証品を使用するときは、給水装置等の記号から、引出線を黒線で記入し「自己認証品」と赤で記入する。

(8) 「自己認証品と記入のないものは、規格品又は第三者認証品である。」と明記すること。

中略

6 給水装置記号

中略

8 位 置 図

(2) 工事場所の字及び引出し線は、赤で書くこと。

中略

新	旧
<div data-bbox="246 254 727 321"><p>12 配 置</p><p>原則として、次のように配置する。</p></div> <div data-bbox="246 321 1418 709"><p>○申請書類の基本構成</p><div><div>①第13号様式 (A4) 申請書</div><div>②設計図様式 1 (A4) または 設計図様式 2 (A3) 平面図 支管 分岐図等</div><div>③設計図様式 1 (A4) 位置図 取出図</div></div><div data-bbox="246 747 1032 823"><p>○共同住宅一括の申請の場合、次の (1) と (2) を要する。</p><p>(1)親栓番の申請</p></div><div data-bbox="246 835 1418 1129"><div><div>①第13号様式 (A4) 改造または新設 申請書</div><div>②設計図様式 1 (A4) または 設計図様式 2 (A3) 平面図 支管 分岐図等</div><div>③設計図様式 1 (A4) 平面図 支管分岐図等</div><div>④設計図様式 1 (A4) 系統図 位置図 取出図</div></div></div><div data-bbox="246 1167 1418 1522"><p>(2)子栓番 (戸数分) の申請</p><div><div>①第13号様式 (A4) 新設 申請書 料金徴収先 給水装置の状況は 水栓番号○○○ の申請に図示</div><div>設計図は省略</div></div></div></div>	<div data-bbox="1522 247 2027 315"><p>12 配 置</p><p>原則として、次図のように配置する。</p></div> <div data-bbox="1596 352 2635 905"><div>第 13 号様式 (A4) 申請書</div><div>設計図様式 1 (A4) 平面図 支管 分岐図等</div><div>設計図様式 2 (A3) 平面図 支管分岐図等</div><div>設計図様式 1 (A4) 位置図 取出図</div></div>

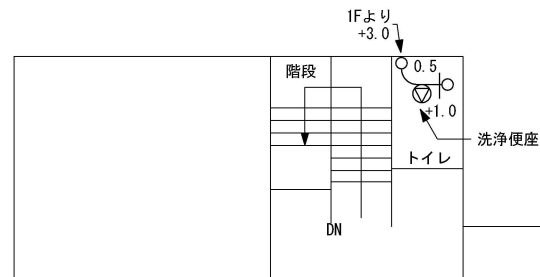
新	旧																								
<div><p>[解 説]</p><p>5 について ;</p><p>< 例 ></p><table><tr><td>管種+口径(mm)</td><td>HVP φ 20</td><td>SUS φ 25</td><td>VG φ 50</td><td>S50 φ 50</td><td>GX(E) φ 75</td></tr><tr><td>延長(m)</td><td>0.2</td><td>2.0</td><td>2.7</td><td>15.5</td><td>18.0</td></tr></table><p>12 について ; 系統図とは、建物内給水装置の全部が明確となる図をいう。次の図を参考とし、作成すること。</p><p>図 4 - 2 - 1 系統図参考</p><div><div><p>系 統 図</p></div><div><p>系 統 図</p></div></div></div>	管種+口径(mm)	HVP φ 20	SUS φ 25	VG φ 50	S50 φ 50	GX(E) φ 75	延長(m)	0.2	2.0	2.7	15.5	18.0	<div><p>[解 説]</p><p>5 について ;</p><p>< 例 ></p><table><tr><td>管種+口径(mm)</td><td>HVP φ 20</td><td>SUS φ 25</td><td>VG φ 50</td><td>S50 φ 50</td><td>GXDIPE φ 75</td></tr><tr><td>延長(m)</td><td>0.2</td><td>2.0</td><td>2.7</td><td>15.5</td><td>18.0</td></tr></table></div>	管種+口径(mm)	HVP φ 20	SUS φ 25	VG φ 50	S50 φ 50	GXDIPE φ 75	延長(m)	0.2	2.0	2.7	15.5	18.0
管種+口径(mm)	HVP φ 20	SUS φ 25	VG φ 50	S50 φ 50	GX(E) φ 75																				
延長(m)	0.2	2.0	2.7	15.5	18.0																				
管種+口径(mm)	HVP φ 20	SUS φ 25	VG φ 50	S50 φ 50	GXDIPE φ 75																				
延長(m)	0.2	2.0	2.7	15.5	18.0																				

新

<図面作成例1 専用住宅の新築工事>

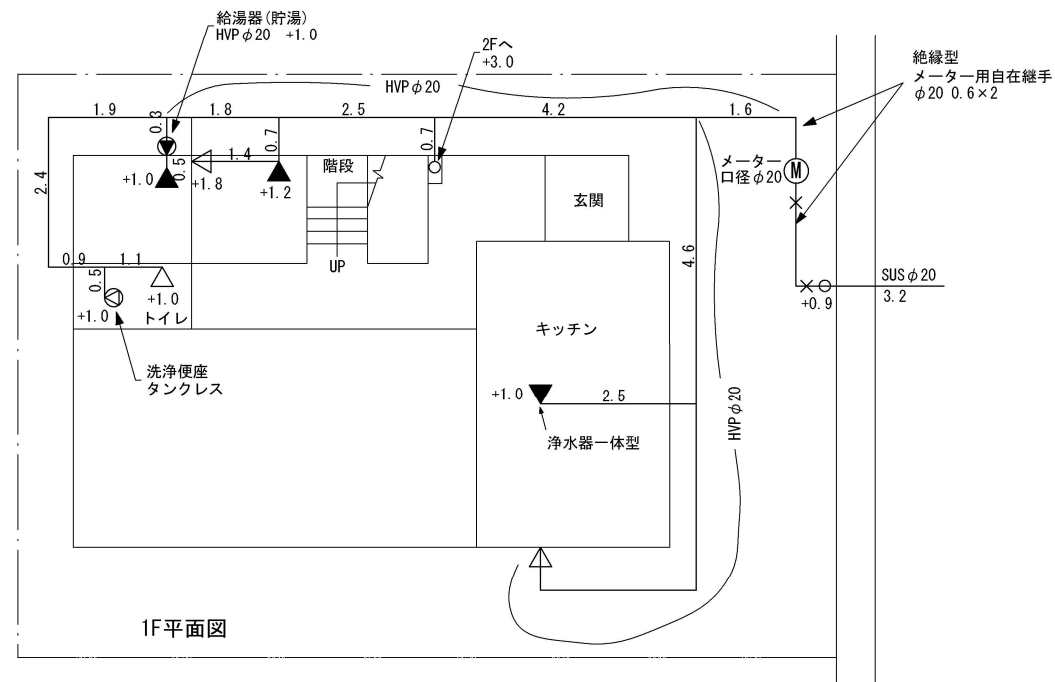
図4-2-1-1 平面図

設計図様式1



2F平面図

- ・管種口径表示なきものはHVPφ13とする
- ・自己認証品と記入のないものは規格品又は第三者認証品である



1F平面図

旧

<図面作成例1 専用住宅の新築工事>

図4-2-1-1 平面図

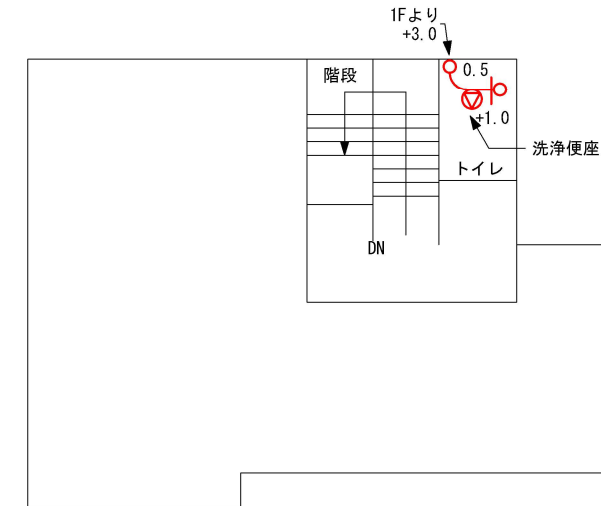
設計図様式1

管網図

353637

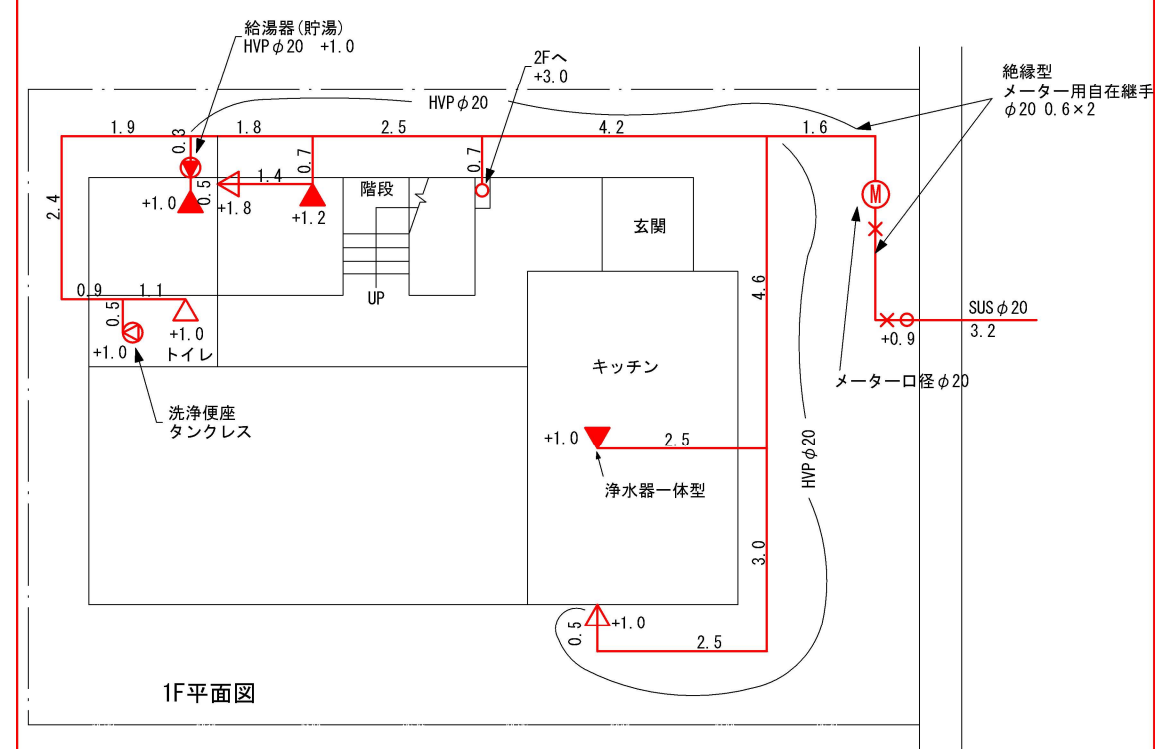
案内図

P100- G -10



2F平面図

- ・管種口径表示なきものはHVPφ13とする
- ・自己認証品と記入のないものは規格品又は第三者認証品である

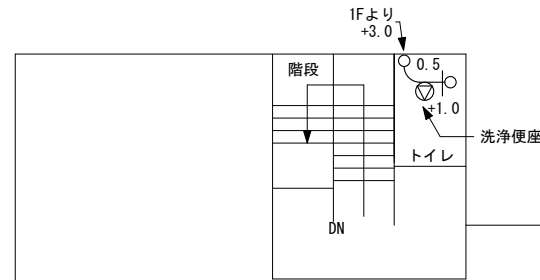


1F平面図

新

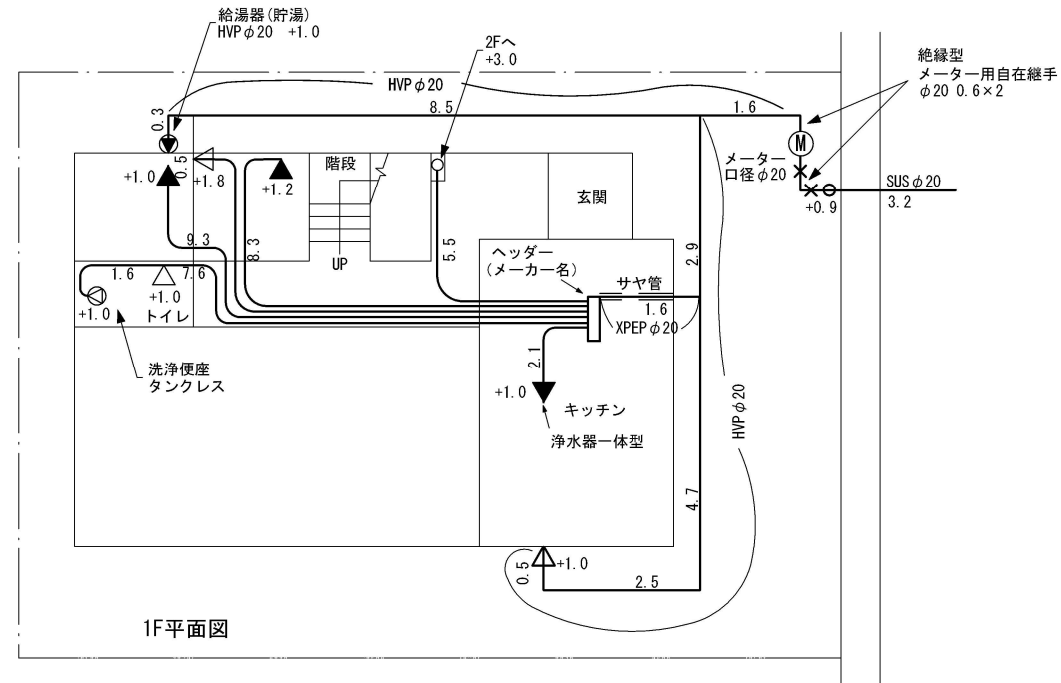
図4-2-1-2 ヘッダー工法の場合

設計図様式1



2F平面図

- ・管種口径表示なきものはHVPφ13とする
- ・自己認証品と記入のないものは規格品又は第三者認証品である



1F平面図

旧

図4-2-1-2 ヘッダー工法の場合

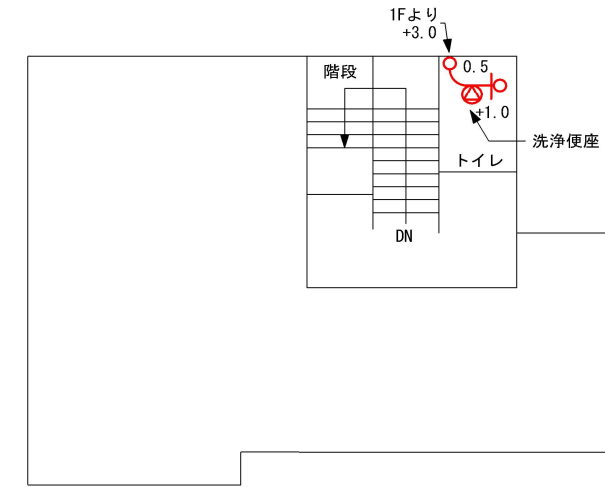
設計図様式1

管網図

353637

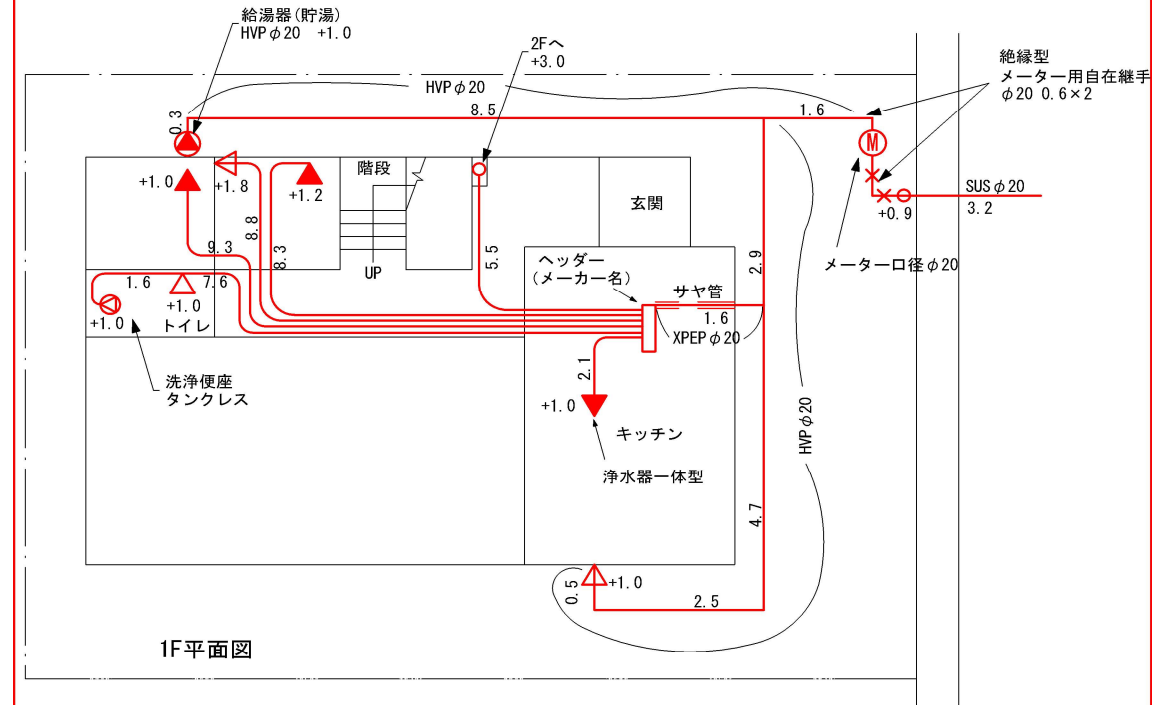
案内図

P100- G -10



2F平面図

- ・管種口径表示なきものはXPEPφ13とする
- ・自己認証品と記入のないものは規格品又は第三者認証品である



1F平面図

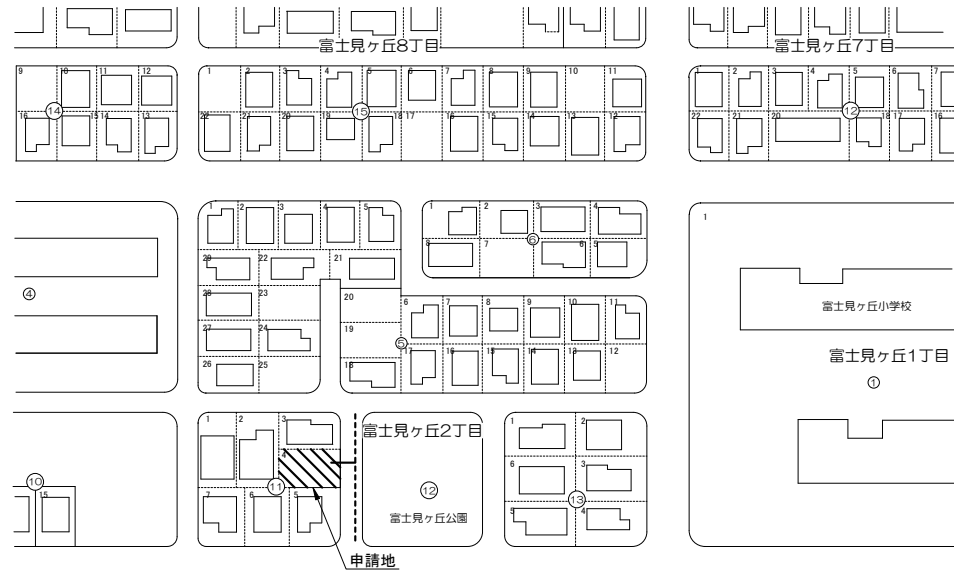
新

図4-2-2 位置図・取出し図

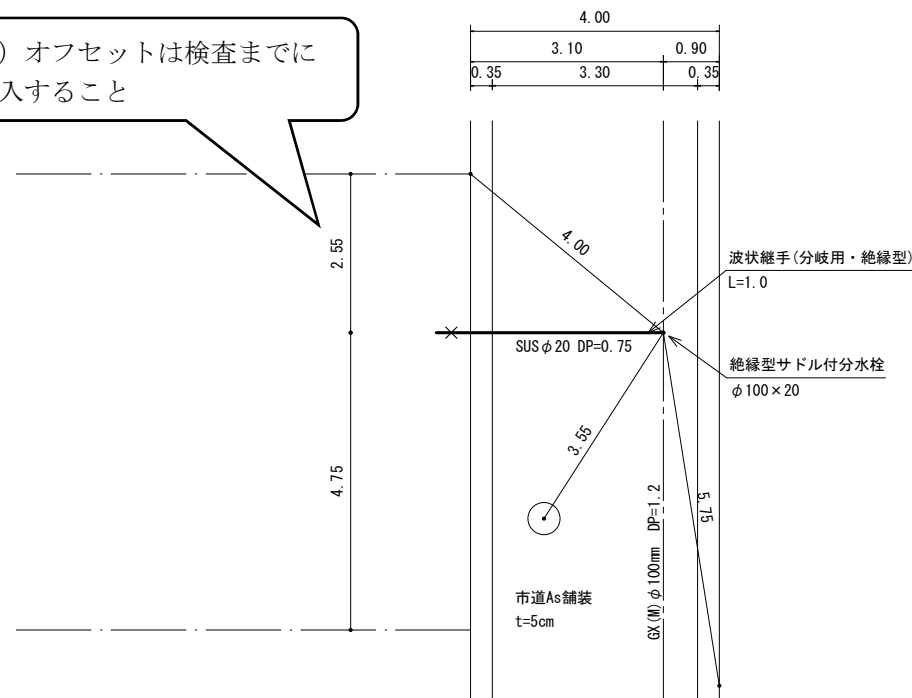
設計図様式1

管網図 : 353637
案内図 : P100- G -10

案内図



注) オフセットは検査までに記入すること



旧

図4-2-2 位置図・取出し図

設計図様式1

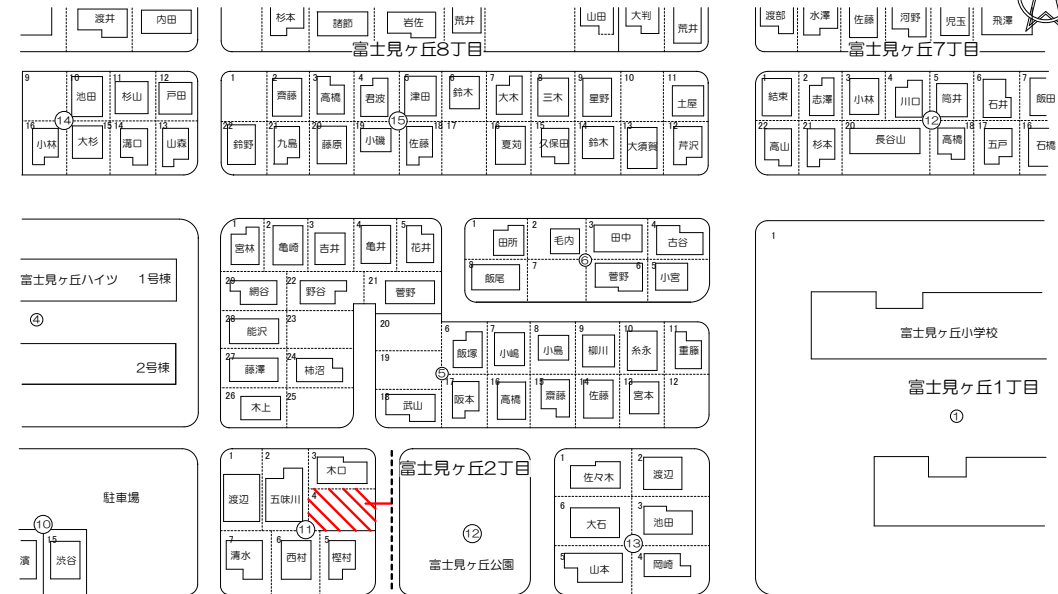
管網図

353637

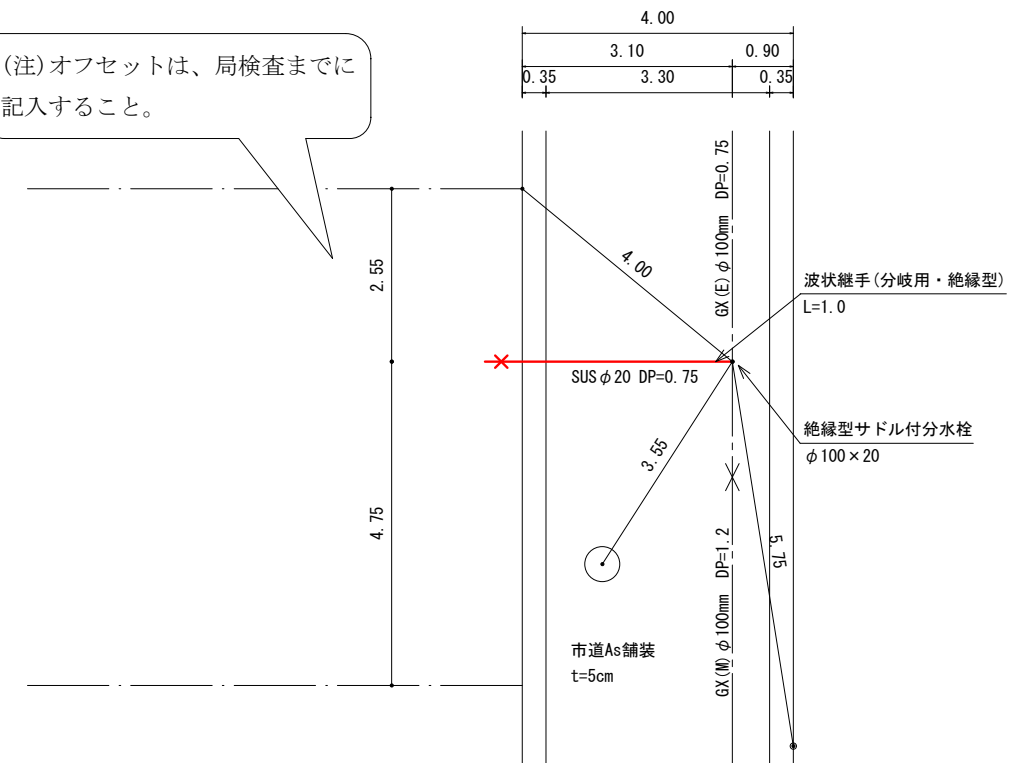
案内図

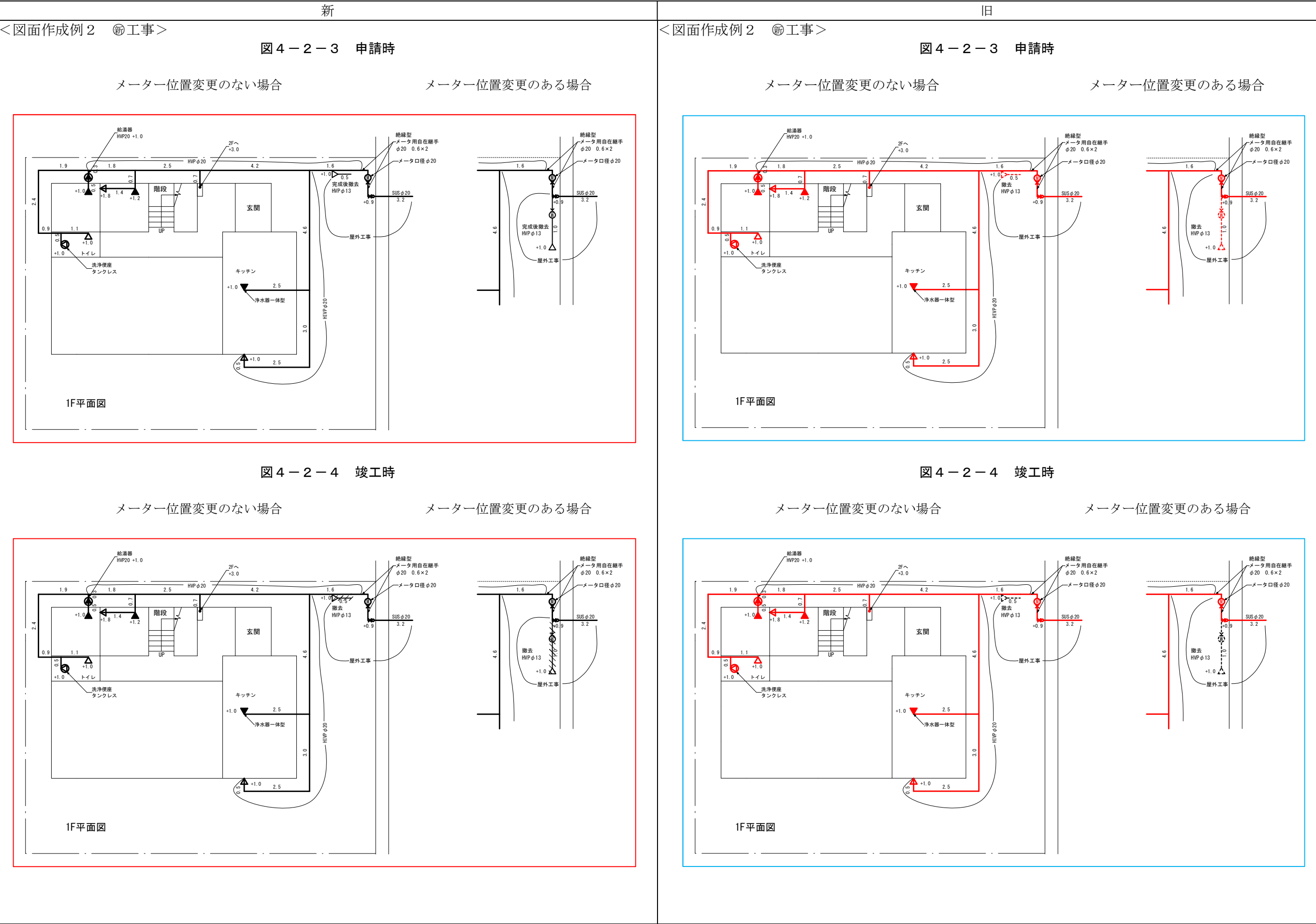
P100- G -10

案内図



(注) オフセットは、局検査までに記入すること。

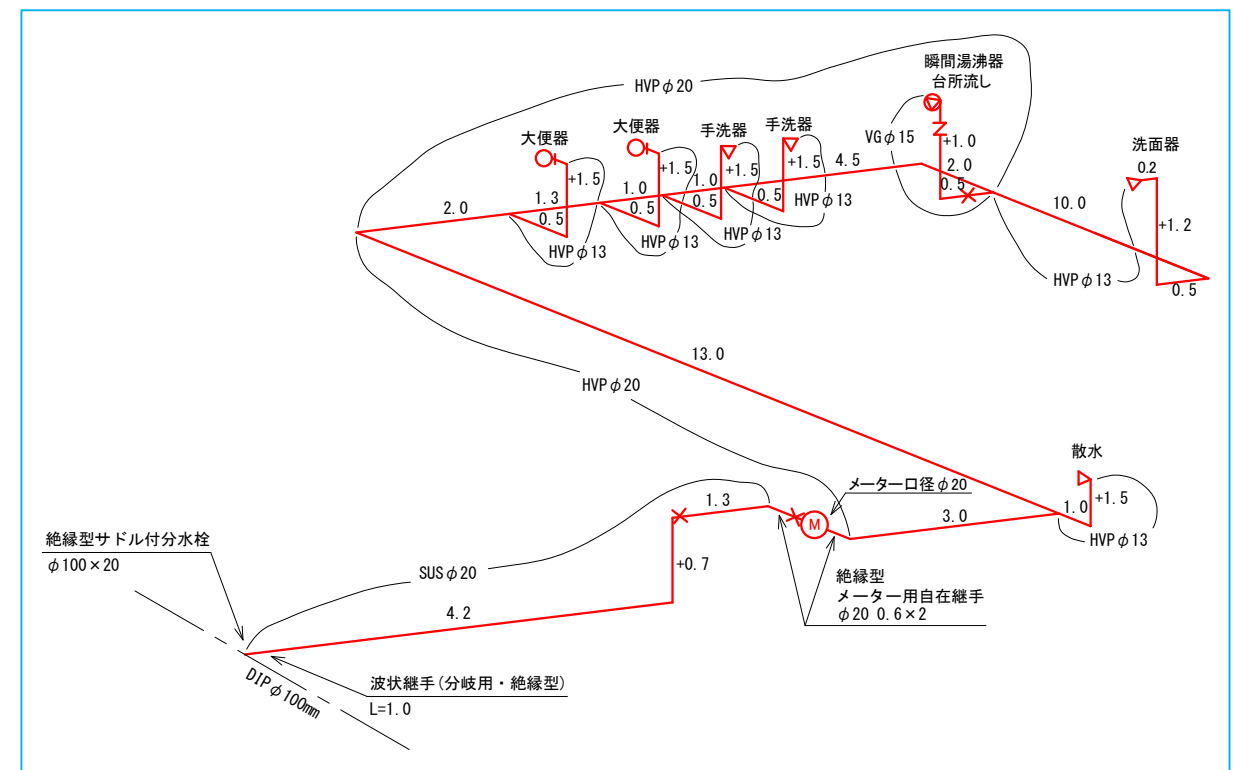




＜図面作成例 3 専用住宅以外の新設工事＞

＜図面作成例 3 専用住宅以外の新設工事＞

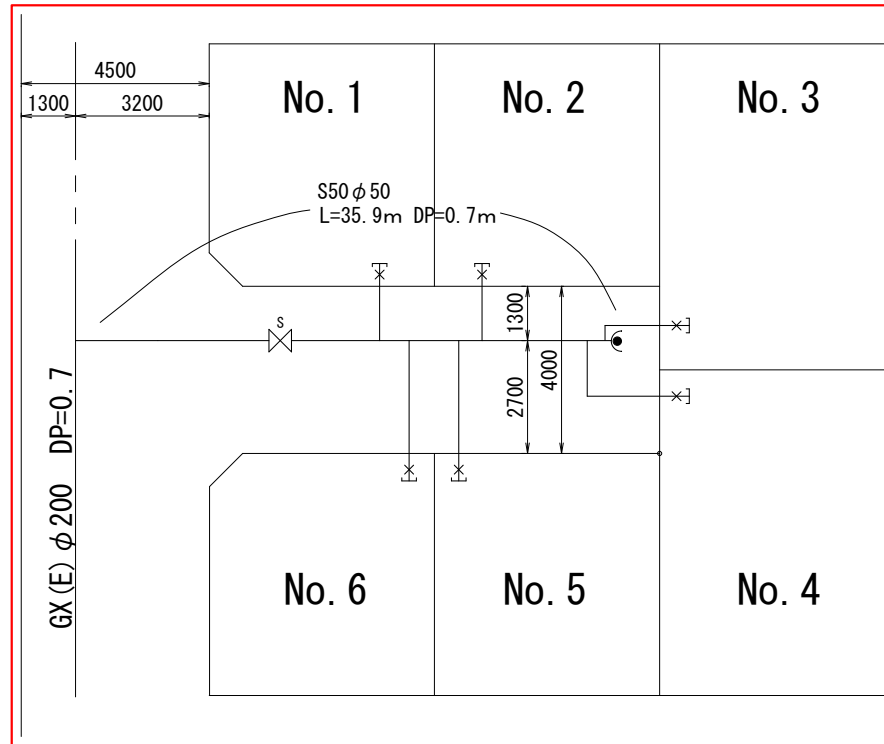
Figure 1 is a schematic diagram of a building layout showing the placement of a water meter and the connection of a water supply line. The building includes a '給湯室' (Water Heating Room), '事務所' (Office), 'トイレ' (Toilet), '入口' (Entrance), and '車庫' (Garage). The water supply line is shown in red, starting from the '市道As舗装' (City Road Asphalt Pavement) at the bottom right, passing through a 'DIP φ100mm' (DIP φ100mm) pipe, and connecting to the 'メーター口径φ20' (Meter Nominal Diameter φ20) water meter. The diagram also indicates dimensions: 6.0m for the building width and 4.0m for the distance from the building to the meter.



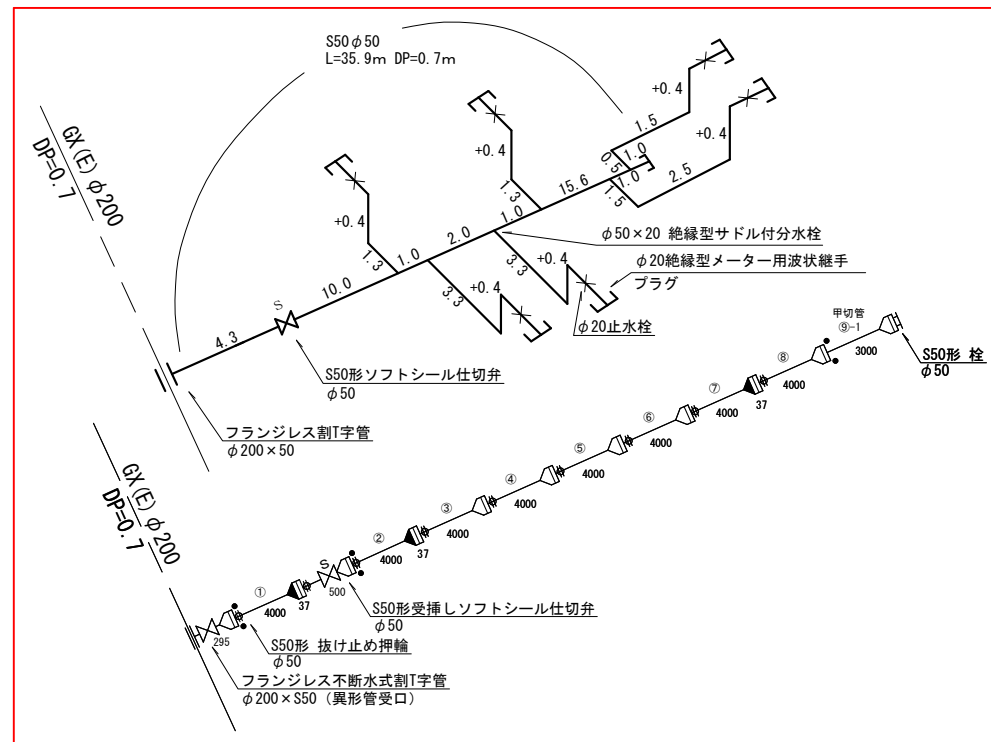
新

<図面作成例 4 一部施工>

図 4-2-6 平面図・立体図・配管図



- ※ 管種口径の表示ないものは、SUS φ 20 とする。
- ※ 自己認証品と記入のないものは、規格品又は第三者認証品である。

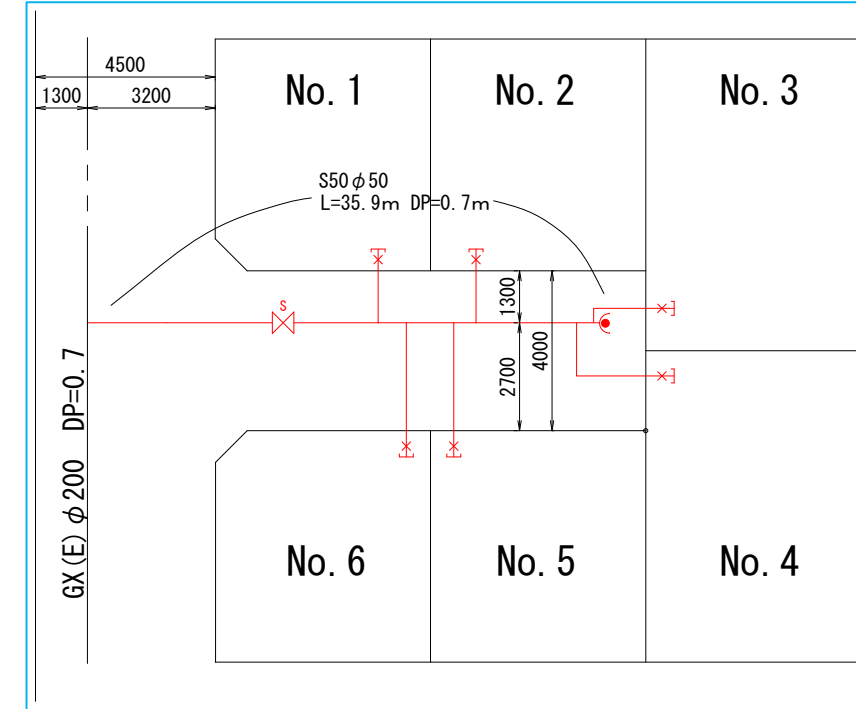


※一部施工の場合、立体図は省略することができる。

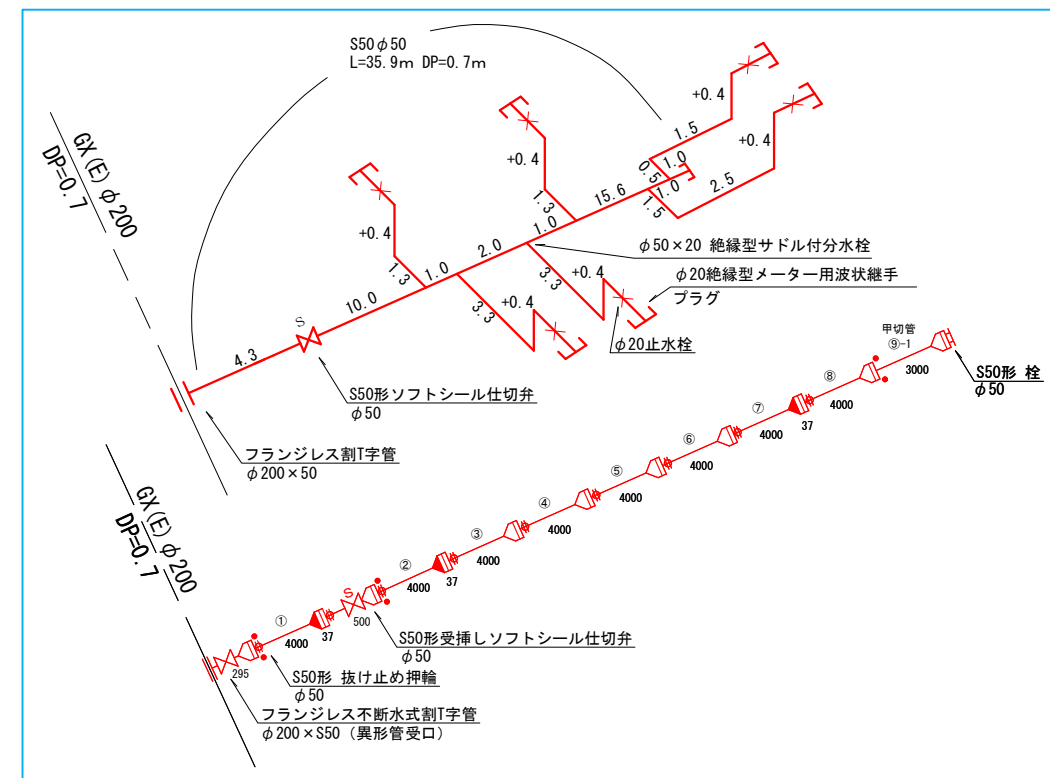
旧

<図面作成例 4 一部施工>

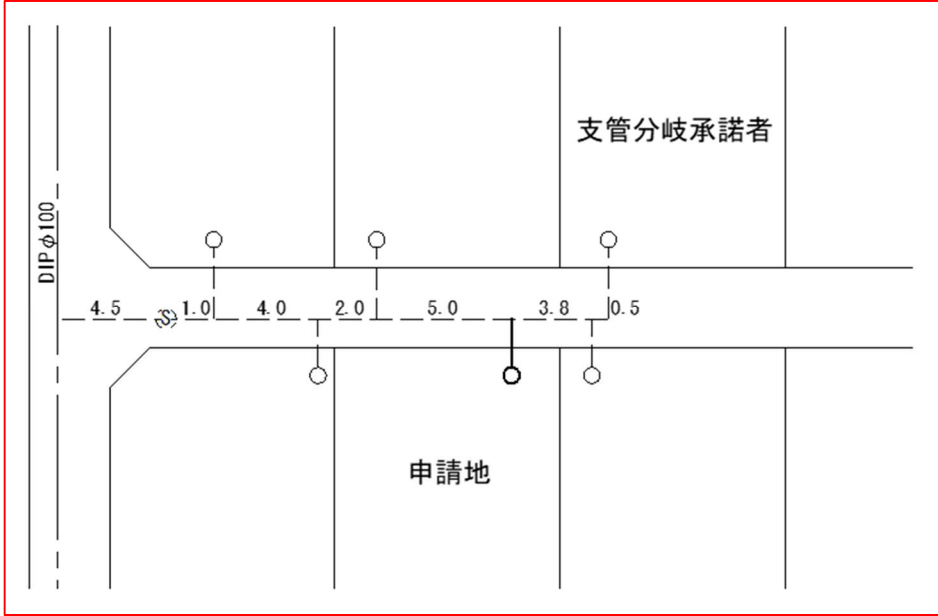
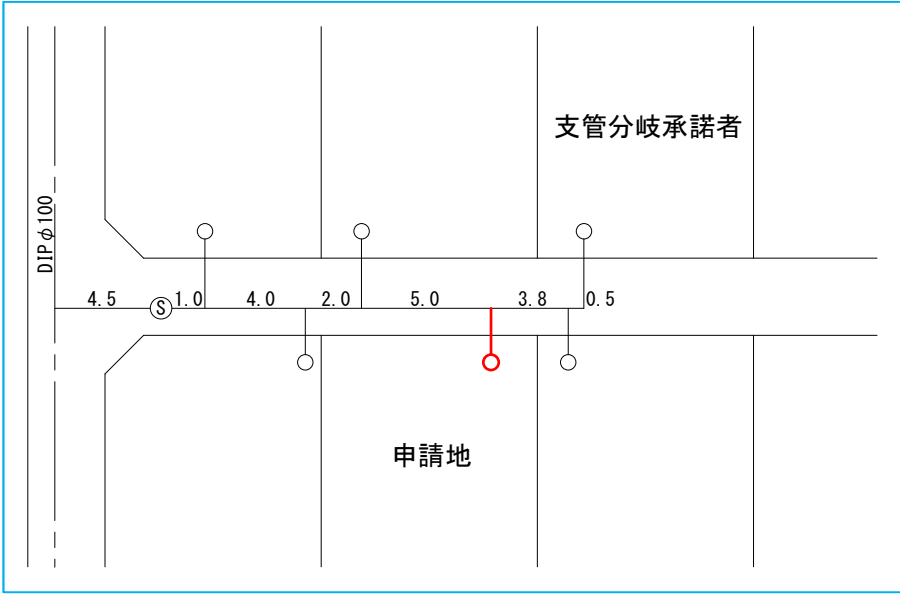
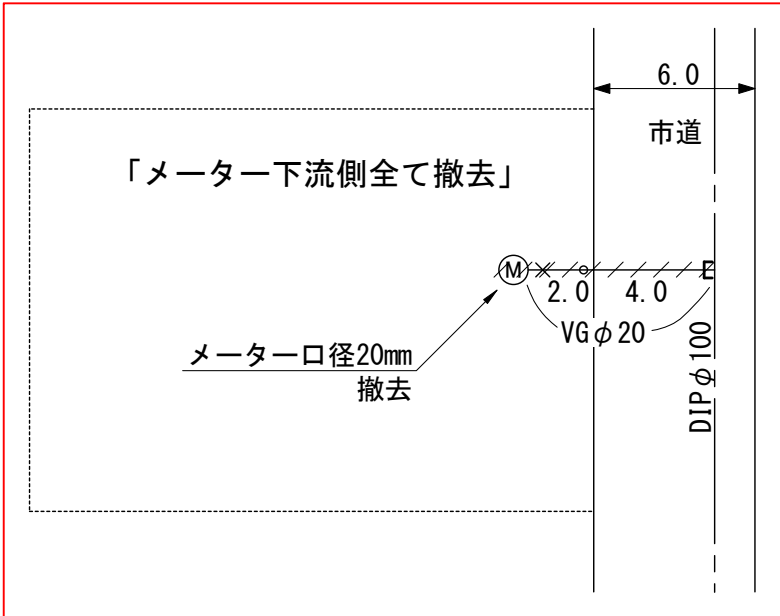
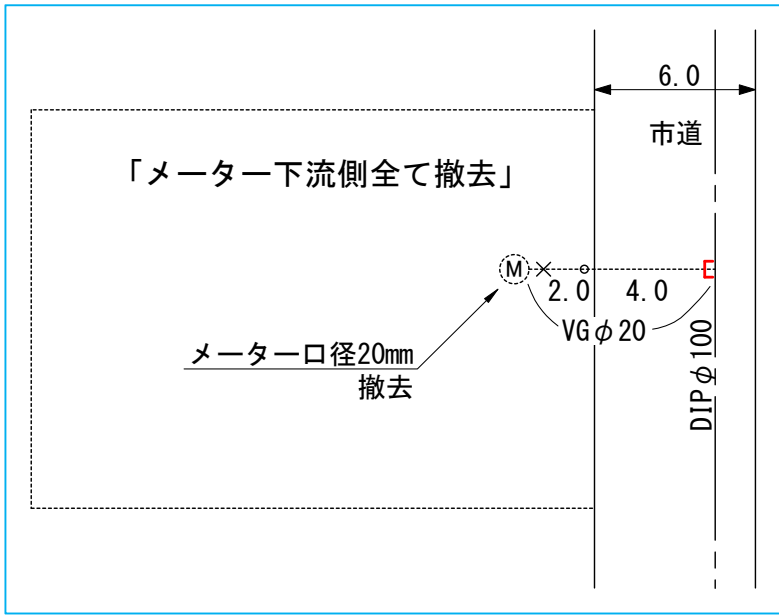
図 4-2-6 平面図・立体図・配管図

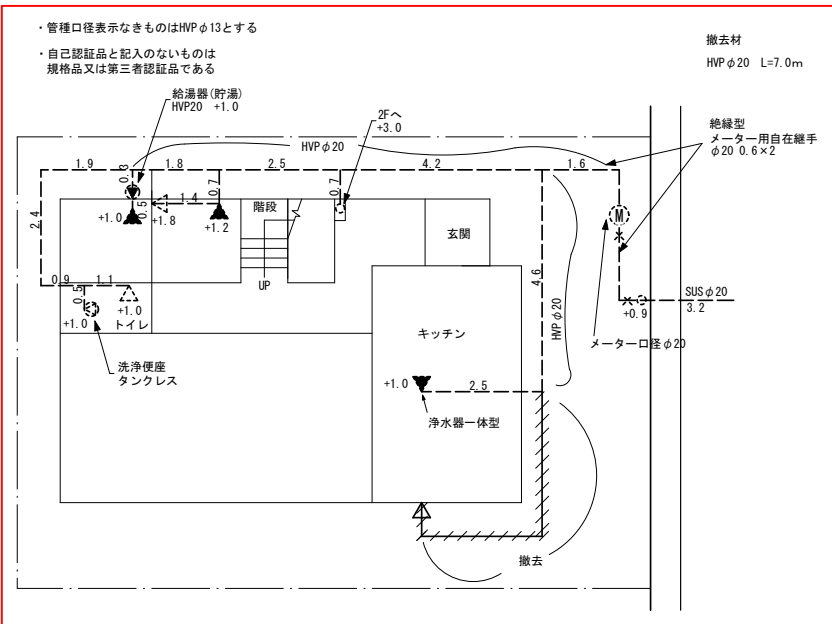
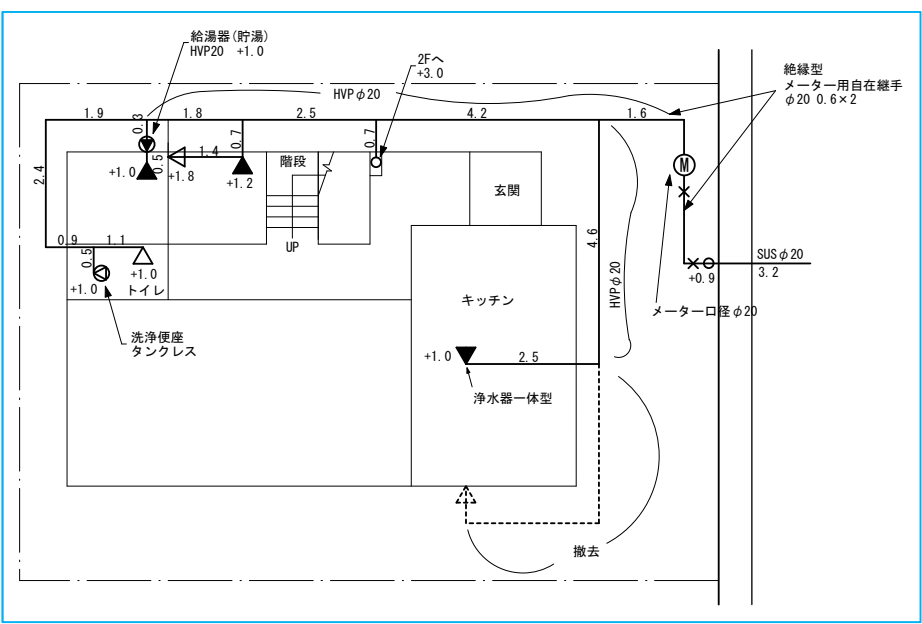


- ※ 管種口径の表示ないものは、SUS φ 20 とする。
- ※ 自己認証品と記入のないものは、規格品又は第三者認証品である。



※一部施工の場合、立体図は省略することができる。

新	旧
<p>＜図面作成例 5 支管分岐承諾をもらう場合＞</p> <p>図 4－2－7 平面図</p> 	<p>＜図面作成例 5 支管分岐承諾をもらう場合＞</p> <p>図 4－2－7 平面図</p> 
<p>＜図面作成例 6 改造工事及び撤去工事における撤去管＞</p> <p>図 4－2－8 撤去管の記載方法</p>  <p>注 1) 水道メーターより上流側の撤去管は、撤去の有無が判読できるように、管種、口径、延長等を図示すること。また、申請地の区画も図示すること。</p> <p>注 2) 撤去工事で公道分を管理者が施行する場合、「管理者施行」と記入すること。</p>	<p>＜図面作成例 6 改造工事及び撤去工事における撤去管＞</p> <p>図 4－2－8 撤去管の記載方法</p>  <p>注 1) 水道メーターより上流側の撤去管は、撤去の有無が判読できるように、管種、口径、延長等を図示すること。また、申請地の区画も図示すること。</p> <p>注 2) 撤去工事で公道分を管理者が施行する場合、「局施行」と記入し、公道分の撤去管を黒色の実線で図示すること。</p>

<div>新</div> <div>図 4 - 2 - 9 メーター下流側の給水装置を一部撤去する場合の記載例</div> <div></div> <div>注 1) 水道メーターより下流側の給水装置を一部撤去する場合は、撤去管の管種、口径、延長及び寸法を省略することができる。</div> <div>4・2・2 設計図の修正</div> <div><p>承認を受けた設計図は、4・2・1「設計図の作成」に基づき、工事後の現場を忠実に書き表すこと。器具等の取付け位置、管種、管の延長等の訂正が生じた場合は、次によること。</p><ol style="list-style-type: none">1 検査申込みまでに営業所の確認を受けること。2 原則として、承認を受けた設計図内で訂正すること。3 やむをえず承認を受けた設計図を全面的に訂正する場合は、下記事項に従い、新たな設計図様式に記載し、申請書に添付すること。 （1）新たな設計図は貼り付けず、元の図面が判読できるようにとじこむこと。 <u>（2）元の図面には、用紙全体に斜線を加えること。</u> <u>（3）新たな設計図及び元の図面は、営業所の確認</u>を受けること。4 検査申込み時までに住居表示が確定した場合は、装置場所欄に追記すること。 なお、受水槽以下の図面修正にあたっては、3・8・5「設計図」を参照のこと。</div> <div>第 5 章 給水装置工事の施工</div> <div>5・1 給水管の分岐</div>	<div>旧</div> <div>図 4 - 2 - 9 メーター下流側の給水装置を一部撤去する場合の記載例</div> <div></div> <div>注 1) 水道メーターより下流側の給水装置を一部撤去する場合は、撤去管の管種、口径、延長及び寸法を省略することができる。</div> <div>4・2・2 設計図の修正</div> <div><p>承認を受けた設計図は、4・2・1「設計図の作成」に基づき、工事後の現場を忠実に書き表すこと。器具等の取付け位置、管種、管の延長等の訂正が生じた場合は、次によること。</p><ol style="list-style-type: none">1 検査申込みまでに営業所の確認、又は押印を受けること。2 原則として、承認を受けた設計図内で訂正すること。3 やむをえず承認を受けた設計図を全面的に訂正する場合は、下記事項に従い、新たな設計図様式に記載し、申請書に添付すること。 （1）新たな設計図は貼り付けず、元の図面が判読できるようにとじこむこと。 （2）新たな設計図には、営業所の押印を受けること。4 検査申込み時までに住居表示が確定した場合は、装置場所欄に追記すること。 なお、受水槽以下の図面修正にあたっては、3・8・5「設計図」を参照のこと。</div> <div>第 5 章 給水装置工事の施工</div> <div>5・1 給水管の分岐</div>
--	--

新					旧				
[解 説]					[解 説]				
表 5－1－1 本管からの分岐器具					表 5－1－1 本管からの分岐器具				
本管管種	本管口径 (mm)	分岐口径 (mm)	分岐器具	分岐直後の継手	本管管種	本管口径 (mm)	分岐口径 (mm)	分岐器具	分岐直後の継手
铸铁管 塗覆装鋼管	75～350	20、25 50	絶縁型サドル付分水栓	絶縁波状継手 (ステンレス製袋ナット)	铸铁管 塗覆装鋼管	75～350	20、25 50	絶縁型サドル付分水栓	絶縁波状継手 (ステンレス製袋ナット)
	400	20、25 50	サドル付分水栓	絶縁波状継手 (砲金製袋ナット)		400	20、25 50	サドル付分水栓	絶縁波状継手 (砲金製袋ナット)
	75 以上	50 以上	不断水式割 T 字管	絶縁波状継手 (砲金製袋ナット)		75 以上	50 以上	不断水式割 T 字管	絶縁波状継手 (砲金製袋ナット)
S 5 0 形 ダクタイル铸铁管	50	20、25	絶縁型サドル付分水栓	絶縁波状継手 (ステンレス製袋ナット)	S 5 0 形 ダクタイル铸铁管	50	20、25	絶縁型サドル付分水栓	絶縁波状継手 (ステンレス製袋ナット)
		50	不断水式割 T 字管	絶縁波状継手 (砲金製袋ナット)			50	不断水式割 T 字管	絶縁波状継手 (砲金製袋ナット)
ステンレス鋼鋼管	50 以下	50 以下	チーズ (ステンレス製)	各種ステンレス製継手	ステンレス鋼鋼管	50 以下	50 以下	チーズ (ステンレス製)	各種ステンレス製継手
防食処理鋼管 ビニル管	50 以下	50 以下	チーズ (防食処理鋼管用) 絶縁型サドル付分水栓	各種絶縁継手		75 以上	20、25	ステンレス製サドル付分水栓	絶縁波状継手 (ステンレス製袋ナット)
ポリエチレン管	50 以下	50 以下	チーズ (防食処理鋼管用)	各種絶縁継手	防食処理鋼管 ビニル管	50 以下	50 以下	チーズ (防食処理鋼管用) 絶縁型サドル付分水栓	各種絶縁継手
					ポリエチレン管	50 以下	50 以下	チーズ (防食処理鋼管用)	各種絶縁継手
中略					中略				
※ 5 本管管種がステンレス鋼鋼管で本管口径 75mm 以上の管から分岐する場合は、管理者と協議すること。									
5・9・4 本復旧					5・9・4 本復旧				
<div>1 本復旧工事の施工は、道路管理者等の定める許可条件及び指示事項を厳守すること。</div> <div>2 本基準に定めのない事項については、「水道工事標準仕様書」に従うこと。</div> <div>3 施工は、原則として申請者が行う。</div> <div>4 仮復旧終了後又は道路管理者等の裁定後、14 日以内に本復旧を施工すること。</div> <div>5 道路ラインは、原形どおり標示すること。</div> <div>6 道路復旧舗装工事の施工者は、建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 3 条に規定する舗装工事業の許可を受けた者であること。</div>					<div>1 本復旧工事の施工は、道路管理者等の定める許可条件及び指示事項を厳守すること。</div> <div>2 本基準に定めのない事項については、「水道工事標準仕様書」に従うこと。</div> <div>3 施工は、原則として申請者が行う。</div> <div>4 仮復旧終了後又は道路管理者等の裁定後、14 日以内に本復旧を施工すること。 また、「給水装置工事に伴う道路復旧舗装工事施行条件承諾書」（様式－9）を提出すること。</div> <div>5 道路ラインは、原形どおり標示すること。</div> <div>6 本復旧工事後は、「かし責任」を有するため、工事の施工にあたっては厳格を期すること。</div> <div>7 道路復旧舗装工事の施工者は、建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 3 条に規定する舗装工事業の許可を受けた者であること。</div>				
[解 説]					[解 説]				
<u>1 について； 道路管理者等が許可条件内に定める期間内に不備を発見した時は、施工した業者が責任をもって補修等の対応をすること。</u>					6 について； かし担保責任とは、工事目的物の引き渡しを受けた後、かくれた「かし」を道路管理者等が発見した時は、施工した業者が責任を持って補修すること。				
6 について； 工事費 500 万円未満の工事の場合、建設業法上の規定はないが、適切な施工を行わせるために、舗装工事業の許可を受けた者が施行すること。					7 について； 工事費 500 万円未満の工事の場合、建設業法上の規定はないが、適切な施工を行わせるために、舗装工事業の許可を受けた者が施行すること。				

新旧対照表

○給水装置工事設計施行基準・解説（様式集）

新	旧
設計図様式集	設計図様式集
設計図様式1 日本産業規格 A4 縦	設計図様式1 日本産業規格 A4 縦
<div><div>(設計図様式1)</div><div><div>管網図</div><div>案内図</div></div></div>	<div><div>(設計図様式1)</div><div><div>管網図</div><div></div><div>案内図</div><div></div></div><div>(方眼)</div></div>

新	旧								
様式集	様式集								
<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div>(削除)</div>	<div>「様式＝1」</div> <div>年――月――日</div> <div>既設建物に関わる維持管理届</div> <div>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div> <div>住所 申込者 氏名 電話</div> <table><tr><td>給水装置場所</td><td></td></tr><tr><td>建物の名称</td><td></td></tr></table> <div><div>1 神奈川県県営上水道条例に規定する給水装置の管理義務を遵守します。</div><div>2 逆流防止装置は、1年に1回以上の点検を行いその記録を1年間保管し、水道営業所長から請求があつたときは提示します。</div><div>3 遠隔指示式量水器の表示装置の維持管理については、当該量水器メーカーと保守委託契約を引き続き行います。</div><div>4 当該給水装置を維持管理するにあたり、次の者を管理責任者に定めます。</div><table><tr><td>氏――名</td><td></td></tr><tr><td>連絡先</td><td></td></tr></table><div>5 管理責任者に変更が生じたときは、直ちに水道営業所長に届け出ます。</div></div>	給水装置場所		建物の名称		氏――名		連絡先	
給水装置場所									
建物の名称									
氏――名									
連絡先									

新					旧				
「様式－1」（A4縦長型）					「様式－2」（A4縦長型）				
県営水道給水関係事前協議書〔正・副〕					県営水道給水関係事前協議書〔正・副〕				
			年 月 日					年 月 日	
開発事業 促進工事 3階直結直圧式給水 直結増圧式給水 増圧猶予 一般					開発事業 促進工事 3階直結直圧式給水 直結増圧式給水 増圧猶予 一般				
申込者	住所				申込者	住所			
	商号又は名称 代表者名又は氏名	電話番号				商号又は名称 代表者名又は氏名	電話番号		
協議者	住所				協議者	住所			
	商号又は名称 代表者名又は氏名	電話番号				商号又は名称 代表者名又は氏名	電話番号		
計画地住所					計画地住所				
計画の概要	開発目的				計画の概要	開発目的			
	開発面積	m ²	用途	専用住宅 共同住宅 事務所ビル		開発面積	m ²	用途	専用住宅 共同住宅 事務所ビル
	敷地面積	m ²	建築物の構造			敷地面積	m ²	建築物の構造	
	建築面積	m ²	建物の戸数	棟 戸		建築面積	m ²	建物の戸数	棟 戸
	延床面積	m ²	最高位水栓	m		延床面積	m ²	最高位水栓	m
	着手予定時期	年 月 日	完成予定時期	年 月 日		着手予定時期	年 月 日	完成予定時期	年 月 日
	検針方法	直読・遠隔	新規配管 ・ 既設管使用			検針方法	直読・遠隔	新規配管 ・ 既設管使用	
	使用見込水量	計画1日最大(m ³ /日)				使用見込水量	計画1日最大(m ³ /日)		
		計画時間最大(m ³ /時) (瞬時最大流量1/分)					計画時間最大(m ³ /時) (瞬時最大流量1/分)		
企業局協議確認欄	別添「回答書」に記した理由により給水工事の申込みをお受けできませんので、再度、給水方法について検討して下さい。 別添「回答書」に記した条件により、給水可能です。 年 月 日 水道営業所長				企業局協議確認欄	別添「回答書」に記した理由により給水工事の申込みをお受けできませんので、再度、給水方法について検討して下さい。 別添「回答書」に記した条件により、給水可能です。 年 月 日 水道営業所長			
1 太枠の部分は、必要事項を記入して下さい。 2 必要書類を添付の上、〔正〕〔副〕各1部を水道営業所に提出して下さい。					1 太枠の部分は、必要事項を記入して下さい。 2 必要書類を添付の上、〔正〕〔副〕各1部を水道営業所に提出して下さい。				

新					旧														
「 様式－１の２ 」（Ａ４縦長型）										「 様式－２の２ 」（Ａ４縦長型）									
県営水道給水関係事前協議書〔正・副〕										県営水道給水関係事前協議書〔正・副〕									
(特別給水装置工事)										(特別給水装置工事)									
					年 月 日										年 月 日				
申 込 者	住 所				電 話 番 号					申 込 者	住 所				電 話 番 号				
	商 号 又 は 名 称 代表者名又は氏名										商 号 又 は 名 称 代表者名又は氏名								
協 議 者	住 所				電 話 番 号					協 議 者	住 所				電 話 番 号				
	商 号 又 は 名 称 代表者名又は氏名										商 号 又 は 名 称 代表者名又は氏名								
計 画 地 住 所										計 画 地 住 所									
計 画 の 概 要		開 発 目 的 又 は 建 築 用 途								計 画 の 概 要		開 発 目 的 又 は 建 築 用 途							
		開 発 面 積 又 は 敷 地 面 積		㎡								開 発 面 積 又 は 敷 地 面 積		㎡					
		開 発 予 定 時 期 又 は 建 築 予 定 時 期		年 月～ 年 月								開 発 予 定 時 期 又 は 建 築 予 定 時 期		年 月～ 年 月					
		開 発 計 画 戸 数 及 び 人 口		棟 戸 人								開 発 計 画 戸 数 及 び 人 口		棟 戸 人					
		建 築 物 の 構 造 面 積、延床面積										建 築 物 の 構 造 面 積、延床面積							
		使 用 見 込 水 量		1日最大 ㎡								使 用 見 込 水 量		1日最大 ㎡					
		給 水 開 始 予 定 時 期		年 月								給 水 開 始 予 定 時 期		年 月					
局 の 意 見 等	意 見									局 の 意 見 等	意 見								
	施 設 規 模	計画給水量（1日最大 ㎡、時間最大 ㎡） 給 水 方 法（直結給水 ・ 配水池 ・ ポンプ所） 口 径 mm 延 長 m									施 設 規 模	計画給水量（1日最大 ㎡、時間最大 ㎡） 給 水 方 法（直結給水 ・ 配水池 ・ ポンプ所） 口 径 mm 延 長 m							
1 太枠の部分は、必要事項を記入して下さい。 2 必要書類を添付の上、[正][副] 各1部を水道営業所に提出して下さい。										1 太枠の部分は、必要事項を記入して下さい。 2 必要書類を添付の上、[正][副] 各1部を水道営業所に提出して下さい。									

新	旧
誓約書の様式	誓約書の様式
「事前協議」の場合	「事前協議」の場合
「 様式－2 」(A 4 縦長型)	「 様式－3 」(A 4 縦長型)
No	No
誓約書	誓約書
年 月 日	年 月 日
神奈川県企業庁 水道営業所長 殿	神奈川県企業庁 水道営業所長 殿
申 込 者 住 所 氏 名	申 込 者 住 所 氏 名
「県営水道給水関係事前協議書」の提出にあたり、下記事項を誓約します。	「県営水道給水関係事前協議書」の提出にあたり、下記事項を誓約します。
記	記
1 工事場所	1 工事場所
2 公道分（団地内道路を含む）の給水装置は、工事完成后すみやかに貴所に寄附します。	2 公道分（団地内道路を含む）の給水装置は、工事完成后すみやかに貴所に寄附します。

新	旧																						
<div>「様式－3」</div> <div>年 月 日</div> <div>直結（直圧・増圧）式給水条件承諾書（新設・切替）</div> <div>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div> <div><table><tr><td>住 所</td></tr><tr><td>申 込 者 氏 名 (所有者) 電 話</td></tr></table></div> <div>直結（直圧・増圧）式による給水方式について、長所及び短所を理解した上で、次の条件を承諾します。</div> <div>1 給水装置の維持管理については、当方にて管理責任者並びに維持管理業者を定め適正に行います。 <u>また、増圧給水設備を含む給水装置の維持管理については、1年以内ごとに1回の定期点検を行い、当方にて管理責任者並びに維持管理業者を定め適正に行います。</u></div> <div><table><tr><td>給水装置の設置場所</td><td>建物所在地</td></tr><tr><td></td><td>名 称</td></tr><tr><td>建物の管理責任者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電話</td></tr><tr><td>給水装置の維持管理業者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電話</td></tr><tr><td><u>直結増圧式給水装置の維持管理業者</u> <u>※該当する場合は記入</u></td><td><u>住 所</u> <u>会社名</u> <u>氏 名</u> 電話</td></tr></table></div> <div>注1「給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の給水装置工事を施行したものをいう。（給水装置工事施行承認申請書における申請者）</div> <div><u>注2「直結増圧式給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の増圧給水設備を施工したものをいう。</u></div> <div>2 使用者に対しては、申込者において当該給水方式であることを説明し、上記管理責任者等を周知させるとともに、水道管の取り替え工事、漏水修理工事、事故等による断水や減水時の使用者への広報、バルブ操作その他必要な措置についても、建物の管理責任者により常時対応します。</div> <div>3 当該給水装置 <u>（増圧給水設備含む）</u> 設置に起因して、逆流または漏水が発生し、水道営業所長又は第三者に損害を与えた場合には責任を持って補償します。また、紛争等については全て当事者間で解決し、水道営業所長に一切迷惑をかけません。</div> <div>4 既設配管による給水設備を使用する場合、将来これに起因する問題についても当方において適正に対処します。</div> <div>5 給水装置の所有権に変更が生じた場合は、速やかに所有者変更届を提出するとともに、上記内容を継承します。また、建物の管理責任者、給水装置の維持管理業者に変更が生じた場合は、速やかに当該給水条件承諾書を再度提出します。</div> <div>6 上記項目の他、取扱上なお必要な事項については、神奈川県県営上水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施行基準・解説を遵守します。</div>	住 所	申 込 者 氏 名 (所有者) 電 話	給水装置の設置場所	建物所在地		名 称	建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電話	給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電話	<u>直結増圧式給水装置の維持管理業者</u> <u>※該当する場合は記入</u>	<u>住 所</u> <u>会社名</u> <u>氏 名</u> 電話	<div>「様式－4」</div> <div>年 月 日</div> <div>直結直圧式給水条件承諾書（新設・切替）</div> <div>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div> <div><table><tr><td>住 所</td></tr><tr><td>申 込 者 氏 名 (所有者) 電 話</td></tr></table></div> <div>直結直圧式による給水方式について、長所及び短所を理解した上で、次の条件を承諾します。</div> <div>1 給水装置の維持管理については、当方にて管理責任者並びに維持管理業者を定め適正に行います。</div> <div><table><tr><td>給水装置の設置場所</td><td>建物所在地</td></tr><tr><td></td><td>名 称</td></tr><tr><td>建物の管理責任者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電話</td></tr><tr><td>給水装置の維持管理業者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電話</td></tr></table></div> <div>注1「給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の給水装置工事を施行したものをいう。（給水装置工事施行承認申請書における申請者）</div> <div>2 使用者に対しては、申込者において直結直圧式による給水方式であることを説明し、上記管理責任者等を周知させるとともに、水道管の取り替え工事、漏水修理工事、事故等による断水や減水時の使用者への広報についても、建物の管理責任者により常時対応します。</div> <div>3 当該給水装置に起因して、逆流または漏水が発生し、水道営業所長又は第三者に損害を与えた場合には責任を持って補償します。また、紛争等については全て当事者間で解決し、水道営業所長に一切迷惑をかけません。</div> <div>4 既設配管による給水設備を使用する場合、将来これに起因する問題についても当方において適正に対処します。</div> <div>5 給水装置の所有権に変更が生じた場合は、速やかに所有者変更届を提出するとともに、上記内容を継承します。また、建物の管理責任者、給水装置の維持管理業者に変更が生じた場合は、速やかに直結直圧式給水条件承諾書を再度提出します。</div> <div>6 上記項目の他、取扱上なお必要な事項については、神奈川県県営上水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施行基準・解説を遵守します。</div>	住 所	申 込 者 氏 名 (所有者) 電 話	給水装置の設置場所	建物所在地		名 称	建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電話	給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電話
住 所																							
申 込 者 氏 名 (所有者) 電 話																							
給水装置の設置場所	建物所在地																						
	名 称																						
建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電話																						
給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電話																						
<u>直結増圧式給水装置の維持管理業者</u> <u>※該当する場合は記入</u>	<u>住 所</u> <u>会社名</u> <u>氏 名</u> 電話																						
住 所																							
申 込 者 氏 名 (所有者) 電 話																							
給水装置の設置場所	建物所在地																						
	名 称																						
建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電話																						
給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電話																						

新	旧								
(削除)	<div>「様式＝４の２」</div> <div><div>年 月 日</div><div>直結増圧式給水条件承諾書（新設・切替）</div><div>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div><div><div>住 所</div><div>申 込 者 氏 名</div><div>（所有者） 電 話</div></div></div> <div><div><div>直結増圧式給水による給水方式について、長所及び短所を理解した上で、次の条件を承諾します。</div><div>1 増圧給水設備を含む給水装置の維持管理については、１年以内ごとに１回の定期点検を行い、当方にて管理責任者並びに維持管理業者を定め適正に行います。</div><table><tr><td>給水装置の設置場所</td><td>建物所在地 名 称</td></tr><tr><td>建物の管理責任者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電 話</td></tr><tr><td>給水装置の維持管理業者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電 話</td></tr><tr><td>直結増圧式給水装置の維持管理業者</td><td>住 所 会社名 氏 名 電 話</td></tr></table><div><div>注１「給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の給水装置工事を施行したものをいう。（給水装置工事施行承認申請書における申請者）</div><div>注２「直結増圧式給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の増圧給水設備を施工したものをいう。</div><div>2 使用者に対しては、申込者において直結増圧式による給水方式であることを説明し、上記管理責任者等を周知させるとともに、水道管の取り替え工事、漏水修理工事、事故等による断水や減水時の使用者への広報、バルブ操作その他必要な措置についても、建物の管理責任者により常時対応します。</div><div>3 増圧給水設備の設置に起因して、逆流または漏水が発生し、水道営業所長又は第三者に損害を与えた場合には責任を持って補償します。また、紛争等については全て当事者間で解決し、水道営業所長に一切迷惑をかけません。</div><div>4 既設配管による給水設備を使用する場合、将来これに起因する問題についても当方において適正に対処します。</div><div>5 給水装置の所有権に変更が生じた場合は、速やかに所有者変更届を提出するとともに、上記内容を継承します。また、建物の管理責任者及び給水装置の維持管理業者に変更が生じた場合は、速やかに直結増圧式給水条件承諾書を再度提出します。</div><div>6 上記項目の他、取扱上なお必要な事項については、神奈川県県営上水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施工基準・解説を遵守します。</div></div></div></div>	給水装置の設置場所	建物所在地 名 称	建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電 話	給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電 話	直結増圧式給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電 話
	給水装置の設置場所	建物所在地 名 称							
	建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電 話							
	給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電 話							
	直結増圧式給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電 話							

新		旧	
「 様式－３の２ 」 <div>年 月 日</div> 増圧給水設備設置の猶予条件承諾書（新設・切替） 神奈川県企業庁 水道営業所長 殿		「 様式－４の３ 」 <div>年 月 日</div> 増圧給水設備設置の猶予条件承諾書（新設・切替） 神奈川県企業庁 水道営業所長 殿	
<div>申 込 者 住 所 (所有者) 氏 名 電 話</div>		<div>申 込 者 住 所 (所有者) 氏 名 電 話</div>	
給水装置の設置場所	建物所在地 名 称	給水装置の設置場所	建物所在地 名 称
建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電 話	建物の管理責任者	住 所 会社名 氏 名 電 話
給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電 話	給水装置の維持管理業者	住 所 会社名 氏 名 電 話
注１「給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の給水装置工事を施行したものをいう。（給水装置工事施行承認申請書における申請者）		注１「給水装置の維持管理業者」とは、当該建物の給水装置工事を施行したものをいう。（給水装置工事施行承認申請書における申請者）	
増圧給水設備設置の猶予（以下、増圧猶予）による給水方式について、長所及び短所を理解した上で、次の条件を承諾します。 １ 当該建物の階数、計画水量、配水管の水圧その他の事情変更により給水上の支障が生じた場合又はおそれがある場合は、あらかじめ確保したスペースを利用して水道直結加圧形ポンプユニット（JWWA B 130 規格品又は規格同等以上品）及び減圧式逆流防止器又は複式逆止弁を設置します。なお、その際には、給水装置工事を申込みます。 ２ 制限給水時、事故時、水道施設の工事等による、一時的な水圧低下に伴う上層階での断水や出水不良が生じた場合は、使用者及び申込者の責任で対処し共用給水栓を使用します。また、その際に損害が生じても水道営業所長に責任を問いません。 ３ 逆流防止装置の機能を適正に保つため、申込者にて建物の管理責任者並びに給水装置の維持管理業者を定め適正に行います。 ４ 使用者に対しては申込者において、増圧猶予による給水方式であることを説明し、建物の管理責任者及び給水装置の維持管理業者を周知させるとともに、水道管の取り替え工事、漏水修理工事、事故等による断水や減水時の使用者への広報、バルブ操作その他必要な措置についても、建物の管理責任者により常時対応します。 ５ 増圧猶予に起因して、逆流または漏水が発生し、水道営業所長又は第三者に損害を与えた場合には責任を持って補償します。 ６ 既設配管による給水設備を使用する場合、将来これに起因する問題についても当方において適正に対処します。 ７ 給水装置の所有権に変更が生じた場合は、速やかに所有者変更届を提出するとともに、上記内容を継承します。また、申込者（所有者）、管理責任者、維持管理業者に変更が生じた場合も、速やかに増圧給水設備設置の猶予条件承諾書を再提出します。 ８ 上記項目の他、取扱上なお必要な事項については、神奈川県県営上水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施行基準・解説を遵守します。 ９ 上記の承諾事項を使用者等に熟知させ、増圧猶予に起因する紛争等については当事者間で解決し、水道営業所長に一切迷惑をかけません。		増圧給水設備設置の猶予（以下、増圧猶予）による給水方式について、長所及び短所を理解した上で、次の条件を承諾します。 １ 当該建物の階数、計画水量、配水管の水圧その他の事情変更により給水上の支障が生じた場合又はおそれがある場合は、あらかじめ確保したスペースを利用して水道直結加圧形ポンプユニット（JWWA B 130 規格品又は規格同等以上品）及び減圧式逆流防止器又は複式逆止弁を設置します。なお、その際には、給水装置工事を申込みます。 ２ 制限給水時、事故時、水道施設の工事等による、一時的な水圧低下に伴う上層階での断水や出水不良が生じた場合は、使用者及び申込者の責任で対処し共用給水栓を使用します。また、その際に損害が生じても水道営業所長に責任を問いません。 ３ 逆流防止装置の機能を適正に保つため、申込者にて建物の管理責任者並びに給水装置の維持管理業者を定め適正に行います。 ４ 使用者に対しては申込者において、増圧猶予による給水方式であることを説明し、建物の管理責任者及び給水装置の維持管理業者を周知させるとともに、水道管の取り替え工事、漏水修理工事、事故等による断水や減水時の使用者への広報、バルブ操作その他必要な措置についても、建物の管理責任者により常時対応します。 ５ 増圧猶予に起因して、逆流または漏水が発生し、水道営業所長又は第三者に損害を与えた場合には責任を持って補償します。 ６ 既設配管による給水設備を使用する場合、将来これに起因する問題についても当方において適正に対処します。 ７ 給水装置の所有権に変更が生じた場合は、速やかに所有者変更届を提出するとともに、上記内容を継承します。また、申込者（所有者）、管理責任者、維持管理業者に変更が生じた場合も、速やかに増圧給水設備設置の猶予条件承諾書を再提出します。 ８ 上記項目の他、取扱上なお必要な事項については、神奈川県県営上水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施行基準・解説を遵守します。 ９ 上記の承諾事項を使用者等に熟知させ、増圧猶予に起因する紛争等については当事者間で解決し、水道営業所長に一切迷惑をかけません。	

新			旧		
「 様式－３の３ 」			「 様式－４の４ 」		
年 月 日			年 月 日		
水 理 計 算 確 認 書			水 理 計 算 確 認 書		
神奈川県企業庁 水道営業所長 殿			神奈川県企業庁 水道営業所長 殿		
給水装置の設置場所			給水装置の設置場所		
申 込 者			申 込 者		
建物の用途及び階数			建物の用途及び階数		
給 水 方 式		直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予	給 水 方 式		直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予
計画一日使用水量		m ³ /日	計画一日使用水量		m ³ /日
計画同時使用水量		ℓ/分	計画同時使用水量		ℓ/分
A	設計水圧（事前協議番号 ー 号）	MPa	A	設計水圧（事前協議番号 ー 号）	MPa
B	給水装置の必要水圧（高低差＋総損失水頭＋余裕水頭）	MPa	B	給水装置の必要水圧（高低差＋総損失水頭＋余裕水頭）	MPa
C	増圧給水設備の吐出圧（揚程）	MPa	C	増圧給水設備の吐出圧（揚程）	MPa
D	余裕水圧 D＝A－B＋C	MPa	D	余裕水圧 D＝A－B＋C	MPa
注）事前協議を行っている場合の設計水圧は、回答書によること。			注）事前協議を行っている場合の設計水圧は、回答書によること。		
上記のとおり、水理計算により支障なく給水可能であることを確認しました。			上記のとおり、水理計算により支障なく給水可能であることを確認しました。		
水 理 計 算 確 認 者		(給水装置工事主任技術者) 免状交付番号 第 号 氏 名	水 理 計 算 確 認 者		(給水装置工事主任技術者) 免状交付番号 第 号 氏 名
指定給水装置工事事業者		指 定 番 号 第 号 事 業 者 名 代 表 者 電 話	指定給水装置工事事業者		指 定 番 号 第 号 事 業 者 名 代 表 者 電 話

新	旧																																																																																
<div>「様式－３の４」</div> <div><div>水 圧 調 査 依 頼 書</div><div>年 月 日</div><div>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div><div>依頼者：<div>住 所 会 社 名 担当者名 連 絡 先</div></div><div>給水方式を検討するにあたり、水圧の調査を依頼します。</div><table><tr><td>調 査 場 所</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>予 定 建 物</td><td>用途：</td><td>階数：</td><td></td></tr><tr><td>予定給水方式</td><td colspan="3">直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予・受水槽式</td></tr><tr><td>案 内 図</td><td colspan="3"></td></tr></table></div> <div>※太枠内に必要事項を記入し、案内図を添付してください。</div> <div>-----以下水道営業所回答欄-----<table><tr><td>受付番号</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>現地水圧</td><td colspan="3">MPa</td></tr><tr><td>調査方法</td><td><input type="checkbox"/>簡易</td><td><input type="checkbox"/>測定</td><td></td></tr><tr><td>測定日</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>特記事項</td><td colspan="3"></td></tr></table><table><tr><td>回答日</td><td></td><td>回答者</td><td></td></tr></table></div>	調 査 場 所				予 定 建 物	用途：	階数：		予定給水方式	直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予・受水槽式			案 内 図				受付番号				現地水圧	MPa			調査方法	<input type="checkbox"/> 簡易	<input type="checkbox"/> 測定		測定日				特記事項				回答日		回答者		<div>「様式－４の５」</div> <div><div>水 圧 調 査 依 頼 書</div><div>年 月 日</div><div>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div><div>依頼者：<div>住 所 会 社 名 担当者名 連 絡 先</div></div><div>給水方式を検討するにあたり、水圧の調査を依頼します。</div><table><tr><td>調 査 場 所</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>予 定 建 物</td><td>用途：</td><td>階数：</td><td></td></tr><tr><td>予定給水方式</td><td colspan="3">直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予・受水槽式</td></tr><tr><td>案 内 図</td><td colspan="3"></td></tr></table></div> <div>※太枠内に必要事項を記入し、案内図を添付してください。</div> <div>-----以下水道営業所回答欄-----<table><tr><td>受付番号</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>現地水圧</td><td colspan="3">MPa</td></tr><tr><td>調査方法</td><td><input type="checkbox"/>簡易</td><td><input type="checkbox"/>測定</td><td></td></tr><tr><td>測定日</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>特記事項</td><td colspan="3"></td></tr></table><table><tr><td>回答日</td><td></td><td>回答者</td><td></td></tr></table></div>	調 査 場 所				予 定 建 物	用途：	階数：		予定給水方式	直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予・受水槽式			案 内 図				受付番号				現地水圧	MPa			調査方法	<input type="checkbox"/> 簡易	<input type="checkbox"/> 測定		測定日				特記事項				回答日		回答者	
調 査 場 所																																																																																	
予 定 建 物	用途：	階数：																																																																															
予定給水方式	直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予・受水槽式																																																																																
案 内 図																																																																																	
受付番号																																																																																	
現地水圧	MPa																																																																																
調査方法	<input type="checkbox"/> 簡易	<input type="checkbox"/> 測定																																																																															
測定日																																																																																	
特記事項																																																																																	
回答日		回答者																																																																															
調 査 場 所																																																																																	
予 定 建 物	用途：	階数：																																																																															
予定給水方式	直結直圧式・直結増圧式・増圧給水設備設置の猶予・受水槽式																																																																																
案 内 図																																																																																	
受付番号																																																																																	
現地水圧	MPa																																																																																
調査方法	<input type="checkbox"/> 簡易	<input type="checkbox"/> 測定																																																																															
測定日																																																																																	
特記事項																																																																																	
回答日		回答者																																																																															

新	旧
<p>誓約書の様式</p> <p>「一部施工」の場合</p> <p>「様式－4」(A 4 縦長型)</p> <div data-bbox="219 319 1445 1743"> <p style="text-align: center;">誓 約 書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</p> <p style="text-align: center;">申込者 住 所 氏 名</p> <p>給水装置の一部施工の申込にあたり、下記事項を誓約します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事場所及び取出箇所数 2 新土地所有者が決定するまで、当該給水装置の維持管理及びその経費は申込者において負担します。 3 土地所有権が移転したときは、給水装置の所有権も新土地所有者のものとしします。 4 当該給水装置に漏水が発生した場合は、すみやかに水道営業所に届け出てその指示に従います。 5 公道分（団地内道路を含む）の給水装置は貴所に寄附します。 6 私道である場合は、占用料は無料とし、貴所が必要であると認める場合は、原形復旧を条件に掘削を認めます。 <p style="text-align: right;">以上</p> </div>	<p>誓約書の様式</p> <p>「一部施工」の場合</p> <p>「様式－5」(A 4 縦長型)</p> <div data-bbox="1492 319 2718 1743"> <p style="text-align: center;">誓 約 書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</p> <p style="text-align: center;">申込者 住 所 氏 名</p> <p>給水装置の一部施工の申込にあたり、下記事項を誓約します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事場所及び取出箇所数 2 新土地所有者が決定するまで、当該給水装置の維持管理及びその経費は申込者において負担します。 3 土地所有権が移転したときは、給水装置の所有権も新土地所有者のものとしします。 4 当該給水装置に漏水が発生した場合は、すみやかに水道営業所に届け出てその指示に従います。 5 公道分（団地内道路を含む）の給水装置は貴所に寄附します。 6 私道である場合は、占用料は無料とし、貴所が必要であると認める場合は、原形復旧を条件に掘削を認めます。 <p style="text-align: right;">以上</p> </div>

新	旧
<p>「様式－5」(A 4 縦長型)</p> <div style="text-align: center;"> <p>同 意 書</p> <p>年 月 日</p> <p>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div> <p>1 申込者 (支管分岐依頼者)</p> <p>2 給水装置場所</p> <p>3 装 置 内 容</p> </div> <div> <p>住所 氏名</p> <p>支管分岐口径 支管分岐箇所数</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">このたび下記の者から支管分岐の同意を得たことを届け出ます。 なお、支管分岐により水量・水圧に支障が生じて一切貴所に異議の申し立てをしないことの同意を得ています。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>記</p> <p>水栓番号 給水装置所有者住所</p> <p>氏 名</p> <p>給水装置使用者住所</p> <p>氏 名</p> </div> </div>	<p>「様式－6」(A 4 縦長型)</p> <div style="text-align: center;"> <p>同 意 書</p> <p>年 月 日</p> <p>神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div> <p>1 申込者 (支管分岐依頼者)</p> <p>2 給水装置場所</p> <p>3 装 置 内 容</p> </div> <div> <p>住所 氏名</p> <p>支管分岐口径 支管分岐箇所数</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">このたび下記の者から支管分岐の同意を得たことを届け出ます。 なお、支管分岐により水量・水圧に支障が生じて一切貴所に異議の申し立てをしないことの同意を得ています。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>記</p> <p>水栓番号 給水装置所有者住所</p> <p>氏 名</p> <p>給水装置使用者住所</p> <p>氏 名</p> </div> </div>

新	旧
<p>「様式－6」(A 4 縦長型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">給水装置工事申込取消届</p> <p>申込み区分 新設、改造、撤去 整理番号 工事場所 水栓番号 第 号</p> <p>年 月 日に申し込んだ上記の給水装置工事を都合により取り消したいので 届け出ます。</p> <p>年 月 日 神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</p> <p style="text-align: right;">申 込 者 住所 氏名</p> <p style="text-align: right;">指定給水装置 住所 工事事業者 氏名</p> </div>	<p>「様式－7」(A 4 縦長型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">給水装置工事申込取消届</p> <p>申込み区分 新設、改造、撤去 整理番号 工事場所 水栓番号 第 号</p> <p>年 月 日に申し込んだ上記の給水装置工事を都合により取り消したいので 届け出ます。</p> <p>年 月 日 神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</p> <p style="text-align: right;">申 込 者 住所 氏名</p> <p style="text-align: right;">指定給水装置 住所 工事事業者 氏名</p> </div>

「様式－8」(A4縦長型)

神奈川県企業庁
水道営業所長 殿

月分給水装置修理報告書

No. _____ (指定給水装置工事事業者名)

受 付 月 日	施 行 年 月 日	水栓番号	依頼者氏名 (使用者)	修 理 内 容	摘 要
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
年 月 日	年 月 日				
その他	年 月 日				

- (1) 栓類の取替、水道メーターの移設、管の取替及び切回の場合は、その内容を具体的に記入すること。
- (2) その他パッキンの取替等軽易な修理については、件数のみを記入すること。

新				旧			
「様式－7の2」(A 4縦長型) <div>年 月 日</div>				「様式－8の2」(A 4縦長型) <div>年 月 日</div>			
増圧給水設備（ポンプ）取替届出書				増圧給水設備（ポンプ）取替届出書			
神奈川県企業庁 水道営業所長 殿				神奈川県企業庁 水道営業所長 殿			
<u>給水装置所有者</u>		<u>指定給水装置工事事業者</u> 指定番号		<u>給水装置所有者</u>		<u>指定給水装置工事事業者</u> 指定番号	
<u>住 所</u> 氏 名		<u>所 在 地</u> 称号又は 名 称		<u>住 所</u> 氏 名		<u>所 在 地</u> 称号又は 名 称	
<u>電 話</u>		<u>電 話</u> 主任技術者		<u>電 話</u>		<u>電 話</u> 主任技術者	
増圧給水設備（ポンプ）の取替えについて、以下のとおり届出ます。				増圧給水設備（ポンプ）の取替えについて、以下のとおり届出ます。			
1 給水装置場所：				1 給水装置場所：			
2 水 栓 番 号：				2 水 栓 番 号：			
3 増圧給水設備仕様				3 増圧給水設備仕様			
メーカー名				メーカー名			
型式				型式			
口径（mm）		自動停止設定圧力（MPa）		口径（mm）		自動停止設定圧力（MPa）	
揚程（m）		自動復帰設定圧力（MPa）		揚程（m）		自動復帰設定圧力（MPa）	
出力（kw）		逆流防止装置種別		出力（kw）		逆流防止装置種別	
吐出量（l/min）		逆流防止装置設置位置	吸込側 ・ 吐出側	吐出量（l/min）		逆流防止装置設置位置	吸込側 ・ 吐出側
最大給水高さ（m）				最大給水高さ（m）			
上記の増圧給水設備の取替にあたり、神奈川県県営水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施行基準・解説を遵守します。				上記の増圧給水設備の取替にあたり、神奈川県県営水道条例及び同施行規程、給水装置工事設計施行基準・解説を遵守します。			

新	旧
(削除)	「様式－9」
	給水装置工事に伴う道路復旧舗装工事施行条件承諾書
	年 月 日
	神奈川県企業庁
	水道営業所長 殿
	商号又は名称
	代表者氏名
	指定給水装置工事事業者 電話番号
	舗装工事業許可番号
	商号又は名称
	代表者氏名
	施工者名 電話番号
	舗装工事を施行するにあたり、次の施行条件を承諾し、遵守いたします。
	施 行 条 件
	1 道路管理者の定める基準及び許可条件に従った施行をすること。
	2 舗装工事は仮復旧終了後又は道路管理者の裁定後、14 日以内に施工すること。
	3 舗装工事施工中の事故等一切の責任を負うこと。
	4 舗装工事の出来形及び品質に、水道営業所及び道路管理者が不備があると認めた場合、手直し等を行うこと。
	5 完成検査終了後 2 か年間に生じた工事目的物のかしの補修、かしによって生じた一切の滅失及び毀損に対しての損害賠償責任を負うこと。

新		旧																																																	
<div>「様式－8」</div> <div>給水装置に係る情報の提供請求書</div> <div>年 月 日</div> <div>(請求先)</div> <div>神奈川県企業庁 水道営業所長</div> <div>(請求者)</div> <div>住所</div> <div>氏名 (法人の場合は法人名及び代表者氏名)</div> <div>電話</div> <div>次のとおり給水装置に係る情報の提供 (閲覧・写しの交付) を請求します。</div> <table><tr><td>1 情報の提供を請求する場所 (わかる範囲で結構です。)</td><td>所在地住所：建物名：水栓番号：</td></tr><tr><td>2 情報を利用する目的</td><td>給水装置工事 給水工事の維持管理 道路掘削工事 宅地内掘削工事 その他 ()</td></tr><tr><td>3 請求する台帳等の種類</td><td>給水台帳 管網図</td></tr></table>		1 情報の提供を請求する場所 (わかる範囲で結構です。)	所在地住所：建物名：水栓番号：	2 情報を利用する目的	給水装置工事 給水工事の維持管理 道路掘削工事 宅地内掘削工事 その他 ()	3 請求する台帳等の種類	給水台帳 管網図	<div>「様式－10」</div> <div>給水装置に係る情報の提供請求書</div> <div>年 月 日</div> <div>(請求先)</div> <div>神奈川県企業庁 水道営業所長</div> <div>(請求者)</div> <div>住所</div> <div>氏名 (法人の場合は法人名及び代表者氏名)</div> <div>電話</div> <div>次のとおり給水装置に係る情報の提供 (閲覧・写しの交付) を請求します。</div> <table><tr><td>1 情報の提供を請求する場所 (わかる範囲で結構です。)</td><td>所在地住所：建物名：水栓番号：</td></tr><tr><td>2 情報を利用する目的</td><td>給水装置工事 給水工事の維持管理 道路掘削工事 宅地内掘削工事 その他 ()</td></tr><tr><td>3 請求する台帳等の種類</td><td>給水台帳 管網図</td></tr></table>		1 情報の提供を請求する場所 (わかる範囲で結構です。)	所在地住所：建物名：水栓番号：	2 情報を利用する目的	給水装置工事 給水工事の維持管理 道路掘削工事 宅地内掘削工事 その他 ()	3 請求する台帳等の種類	給水台帳 管網図																																				
1 情報の提供を請求する場所 (わかる範囲で結構です。)	所在地住所：建物名：水栓番号：																																																		
2 情報を利用する目的	給水装置工事 給水工事の維持管理 道路掘削工事 宅地内掘削工事 その他 ()																																																		
3 請求する台帳等の種類	給水台帳 管網図																																																		
1 情報の提供を請求する場所 (わかる範囲で結構です。)	所在地住所：建物名：水栓番号：																																																		
2 情報を利用する目的	給水装置工事 給水工事の維持管理 道路掘削工事 宅地内掘削工事 その他 ()																																																		
3 請求する台帳等の種類	給水台帳 管網図																																																		
<div>【所有者本人の同意欄】</div> <div>上記の情報提供に同意します。年 月 日</div> <div>給水装置所有者 住所</div> <div>氏名</div> <div>電話番号</div> <div>注意</div> <div>1 情報の提供の請求にあたっては、請求者が本人であることを確認できる書類 (住民基本台帳カード、運転免許証、旅券、健康保険の被保険者証、国民年金手帳、給水装置工事主任技術者証その他法令により交付された書類) の提示が必要となります。</div> <div>2 提供を受けた個人情報の取扱いについては、次の事項を遵守してください。 (1) 提供を受けた情報を申し込んだ利用目的以外には利用しないこと。 (2) 提供を受けた情報を漏えいしないよう十分注意すること。 (3) 保有する必要のなくなった情報は、確実に、かつ、速やかに廃棄するよう努めること。</div> <div>3 提供する情報は、水道施設の参考図ですので、工事の際は必ず詳細について竣工図や試掘により確認してください。</div> <div>4 該当する□にレ印をしてください。</div> <div>.....ここから下は水道営業所で記載します。.....</div> <div>【水道営業所確認欄】</div> <table><tr><td><input type="checkbox"/> 本人確認</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>確認方法</td><td><input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード</td><td><input type="checkbox"/> 運転免許証 (番号)</td><td></td></tr><tr><td></td><td><input type="checkbox"/> 旅券 (番号)</td><td><input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (番号)</td><td></td></tr><tr><td></td><td><input type="checkbox"/> 国民年金手帳 (番号)</td><td><input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者証 (番号)</td><td></td></tr><tr><td></td><td colspan="3"><input type="checkbox"/> その他の書類 ()</td></tr><tr><td>対応時間</td><td>時 分</td><td colspan="2"></td></tr></table> <div><input type="checkbox"/> 写しの交付 <input type="checkbox"/> 閲覧 担当者</div>		<input type="checkbox"/> 本人確認				確認方法	<input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード	<input type="checkbox"/> 運転免許証 (番号)			<input type="checkbox"/> 旅券 (番号)	<input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (番号)			<input type="checkbox"/> 国民年金手帳 (番号)	<input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者証 (番号)			<input type="checkbox"/> その他の書類 ()			対応時間	時 分			<div>【所有者本人の同意欄】</div> <div>上記の情報提供に同意します。年 月 日</div> <div>給水装置所有者 住所</div> <div>氏名</div> <div>電話番号</div> <div>注意</div> <div>1 情報の提供の請求にあたっては、請求者が本人であることを確認できる書類 (住民基本台帳カード、運転免許証、旅券、健康保険の被保険者証、国民年金手帳、給水装置工事主任技術者証その他法令により交付された書類) の提示が必要となります。</div> <div>2 提供を受けた個人情報の取扱いについては、次の事項を遵守してください。 (1) 提供を受けた情報を申し込んだ利用目的以外には利用しないこと。 (2) 提供を受けた情報を漏えいしないよう十分注意すること。 (3) 保有する必要のなくなった情報は、確実に、かつ、速やかに廃棄するよう努めること。</div> <div>3 提供する情報は、水道施設の参考図ですので、工事の際は必ず詳細について竣工図や試掘により確認してください。</div> <div>4 該当する□にレ印をしてください。</div> <div>.....ここから下は水道営業所で記載します。.....</div> <div>【水道営業所確認欄】</div> <table><tr><td><input type="checkbox"/> 本人確認</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>確認方法</td><td><input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード</td><td><input type="checkbox"/> 運転免許証 (番号)</td><td></td></tr><tr><td></td><td><input type="checkbox"/> 旅券 (番号)</td><td><input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (番号)</td><td></td></tr><tr><td></td><td><input type="checkbox"/> 国民年金手帳 (番号)</td><td><input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者証 (番号)</td><td></td></tr><tr><td></td><td colspan="3"><input type="checkbox"/> その他の書類 ()</td></tr><tr><td>対応時間</td><td>時 分</td><td colspan="2"></td></tr></table> <div><input type="checkbox"/> 写しの交付 <input type="checkbox"/> 閲覧 担当者</div>		<input type="checkbox"/> 本人確認				確認方法	<input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード	<input type="checkbox"/> 運転免許証 (番号)			<input type="checkbox"/> 旅券 (番号)	<input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (番号)			<input type="checkbox"/> 国民年金手帳 (番号)	<input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者証 (番号)			<input type="checkbox"/> その他の書類 ()			対応時間	時 分		
<input type="checkbox"/> 本人確認																																																			
確認方法	<input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード	<input type="checkbox"/> 運転免許証 (番号)																																																	
	<input type="checkbox"/> 旅券 (番号)	<input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (番号)																																																	
	<input type="checkbox"/> 国民年金手帳 (番号)	<input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者証 (番号)																																																	
	<input type="checkbox"/> その他の書類 ()																																																		
対応時間	時 分																																																		
<input type="checkbox"/> 本人確認																																																			
確認方法	<input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード	<input type="checkbox"/> 運転免許証 (番号)																																																	
	<input type="checkbox"/> 旅券 (番号)	<input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (番号)																																																	
	<input type="checkbox"/> 国民年金手帳 (番号)	<input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者証 (番号)																																																	
	<input type="checkbox"/> その他の書類 ()																																																		
対応時間	時 分																																																		

新	旧
<div>「様式—9」</div> <div>確約書</div> <div>年 月 日</div> <div>神奈川県企業庁</div> <div>水道営業所長 殿</div> <div>申込者 住 所</div> <div>氏 名</div> <div>責任者 住 所</div> <div>氏 名</div> <div>震災時の飲料水を確保する目的で、受水槽からの非常用給水栓を設置するにあたり、次の内容について遵守することを確約します。</div> <div>1 非常用給水栓は、地震による災害で本管が断水した場合に使用します。</div> <div>また、停電によりポンプ施設が停止して給水ができない場合、1人あたり1日3リットル程度の飲料水に限定して使用します。</div> <div>2 非常用給水栓は、鍵付の給水栓とし、責任者を定め鍵を管理します。</div> <div>なお、給水栓は口径φ20mm以下の1栓とします。</div> <div>3 住民の周知方法として、「震災時の使用に限定」のプレートを掲示します。</div> <div>4 事前に、非常用給水栓を設置する受水槽の構造図を水道営業所に提出します。</div> <div>5 申込者及び責任者を変更する場合は、速やかに水道営業所に確約書を再提出します。</div>	<div>「様式—11」</div> <div>確約書</div> <div>年 月 日</div> <div>神奈川県企業庁</div> <div>水道営業所長 殿</div> <div>申込者 住 所</div> <div>氏 名</div> <div>責任者 住 所</div> <div>氏 名</div> <div>震災時の飲料水を確保する目的で、受水槽からの非常用給水栓を設置するにあたり、次の内容について遵守することを確約します。</div> <div>1 非常用給水栓は、地震による災害で本管が断水した場合に使用します。</div> <div>また、停電によりポンプ施設が停止して給水ができない場合、1人あたり1日3リットル程度の飲料水に限定して使用します。</div> <div>2 非常用給水栓は、鍵付の給水栓とし、責任者を定め鍵を管理します。</div> <div>なお、給水栓は口径φ20mm以下の1栓とします。</div> <div>3 住民の周知方法として、「震災時の使用に限定」のプレートを掲示します。</div> <div>4 事前に、非常用給水栓を設置する受水槽の構造図を水道営業所に提出します。</div> <div>5 申込者及び責任者を変更する場合は、速やかに水道営業所に確約書を再提出します。</div>

新	旧
<div>「様式— 1 0」</div> <div>水道直結式スプリンクラー設備の設置に係る誓約書</div> <div>年 月 日</div> <div>(提出先) 神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div> <div>申 込 者 住 所 (所有者) 氏 名</div> <div>給水装置工事にて水道直結式スプリンクラー設備（以下、「スプリンクラー設備」という。）を設置するにあたり、以下の事項を誓約します。</div> <div>1 スプリンクラー設備の維持管理については当方にて適正に行い、災害その他正当な理由によって、一時的な断水や水圧低下等により、スプリンクラー設備の性能が十分発揮されない状況が生じても、水道営業所に対し一切責任を問いません。</div> <div>2 スプリンクラー設備の、火災時以外における作動及び火災時に非作動が生じても、当方にて対処し水道営業所に対し一切責任を問いません。</div> <div>3 スプリンクラー設備の設置にあたっては、消防設備士の指導の下に行っており、異常等が生じても水道営業所に対して苦情を申しません。</div> <div>4 逆流防止対策としてスプリンクラー設備配管系統の上流側に逆止弁を設置し、1年に1回以上の点検を行い管理いたします。</div> <div>5 スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合など、使用する者が申込者と異なる場合については、各誓約事項を使用する者に周知徹底いたします。</div> <div>6 スプリンクラー設備の申込者（所有者）を変更するときは、各誓約事項を譲受人に熟知させます。</div> <div>7 スプリンクラー設備の作動による原因で水道メーターが故障等した場合は、水道営業所の指示に従い当方にて対処します。</div>	<div>「様式— 1 2」</div> <div>水道直結式スプリンクラー設備の設置に係る誓約書</div> <div>年 月 日</div> <div>(提出先) 神奈川県企業庁 水道営業所長 殿</div> <div>申 込 者 住 所 (所有者) 氏 名</div> <div>給水装置工事にて水道直結式スプリンクラー設備（以下、「スプリンクラー設備」という。）を設置するにあたり、以下の事項を誓約します。</div> <div>1 スプリンクラー設備の維持管理については当方にて適正に行い、災害その他正当な理由によって、一時的な断水や水圧低下等により、スプリンクラー設備の性能が十分発揮されない状況が生じても、水道営業所に対し一切責任を問いません。</div> <div>2 スプリンクラー設備の、火災時以外における作動及び火災時に非作動が生じても、当方にて対処し水道営業所に対し一切責任を問いません。</div> <div>3 スプリンクラー設備の設置にあたっては、消防設備士の指導の下に行っており、異常等が生じても水道営業所に対して苦情を申しません。</div> <div>4 逆流防止対策としてスプリンクラー設備配管系統の上流側に逆止弁を設置し、1年に1回以上の点検を行い管理いたします。</div> <div>5 スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合など、使用する者が申込者と異なる場合については、各誓約事項を使用する者に周知徹底いたします。</div> <div>6 スプリンクラー設備の申込者（所有者）を変更するときは、各誓約事項を譲受人に熟知させます。</div> <div>7 スプリンクラー設備の作動による原因で水道メーターが故障等した場合は、水道営業所の指示に従い当方にて対処します。</div>

新

旧

1・1各水道営業所の所管区域

神奈川県ホームページ	
県営水道の給水区域	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r4a/keneisuidousyokai/kyusuikuiki.html

1・1各水道営業所の所管区域

名 称	所 在 地	所 管 区 域	電 話 番 号
相 模 原 水 道 営 業 所 相模原市中央区光が丘2丁目18番56号		相模原市（緑区（相原、相原1丁目、相原2丁目、相原3丁目、相原4丁目、相原5丁目、相原6丁目、大島、大山町、上九沢、下九沢、田名、西橋本1丁目、西橋本2丁目、西橋本3丁目、西橋本4丁目、西橋本5丁目、二本松1丁目、二本松2丁目、二本松3丁目、二本松4丁目、橋本1丁目、橋本2丁目、橋本3丁目、橋本4丁目、橋本5丁目、橋本6丁目、橋本7丁目、橋本8丁目、橋本台1丁目、橋本台2丁目、橋本台3丁目、橋本台4丁目、東橋本1丁目、東橋本2丁目、東橋本3丁目、東橋本4丁目及び元橋本町に限る。）及び中央区に限る。）	042(755)1132(代)
相 模 原 南 水 道 営 業 所 相模原市南区相模大野6丁目3番1号		相模原市（南区に限る。）	042(745)1111(代)
津 久 井 水 道 営 業 所 相模原市緑区中野252番地の1		相模原市（緑区（相原、相原1丁目、相原2丁目、相原3丁目、相原4丁目、相原5丁目、相原6丁目、青根、大島、大山町、上九沢、澤井（1,746番から2,243番まで、2,507番から2,609番まで及び2,617番から2,631番までに限る。）、下九沢、田名、名倉（657番から772番まで、1,657番から2,161番まで及び2,743番から4,142番までに限る。）、西橋本1丁目、西橋本2丁目、西橋本3丁目、西橋本4丁目、西橋本5丁目、二本松1丁目、二本松2丁目、二本松3丁目、二本松4丁目、橋本1丁目、橋本2丁目、橋本3丁目、橋本4丁目、橋本5丁目、橋本6丁目、橋本7丁目、橋本8丁目、橋本台1丁目、橋本台2丁目、橋本台3丁目、橋本台4丁目、東橋本1丁目、東橋本2丁目、東橋本3丁目、東橋本4丁目、日連（1,116番から1,146番まで、1,202番から1,212番まで及び2,098番から2,770番までに限る。）、牧野（4,818番、4,819番、4,826番から4,830番まで、4,841番から4,843番まで、4,914番、4,922番から4,928番まで、5,517番から5,519番まで、5,528番から5,530番まで、5,533番から5,556番まで、5,563番から5,587番まで、5,593番から5,598番まで及び5,635番から5,637番までを除く。）、元橋本町及び吉野（1,691番から2,109番までに限る。）を除く。）に限る。）	042(784)4822(代)
鎌 倉 水 道 営 業 所 鎌倉市御成町12番地18号		鎌倉市、逗子市及び三浦郡葉山町（上山口（1,560番10、1,560番35から40まで、1,560番43から49まで、1,560番74、1,560番84、1,560番86、1,560番88、1,560番89、1,560番91、1,560番93、1,560番97、1,560番104、1,560番105、1,560番108、1,560番110、1,560番112、1,560番120、1,560番122、1,560番123、1,560番126、1,560番127、1,560番131、1,560番132、1,560番151、2,057番18、2,057番21、2,057番23、2,057番26、2,094番2、2,094番5、2,108番11、2,108番12、2,108番14から17まで、2,108番19から25まで及び2,108番41に限る。）及び下山口（1番1、1番6、1番10、1番12、1番14から17まで、1番21から31まで、1番35、1番37、7番4、7番7から10まで、7番13、20番3から6まで及び20番8に限る。）を除く。）	0467(22)6200(代)
藤 沢 水 道 営 業 所 藤沢市鵠沼石上2丁目6番2号		藤沢市	0466(27)1211(代)

新

茅ヶ崎水道営業所 茅ヶ崎市本村4丁目5番22号	平塚市（須賀（字上彦右衛門新田及び下彦右衛門新田に限る。）及び馬入（字三谷前、三谷後、中島境及び大道下に限る。）に限る。）、茅ヶ崎市及び高座郡寒川町	0467(52)6151(代)
平塚水道営業所 平塚市西八幡1丁目3番地1号	平塚市（須賀（字上彦右衛門新田及び下彦右衛門新田に限る。）、馬入（字三谷前、三谷後、中島境及び大道下に限る。）及び土屋（字遠藤原に限る。）を除く。）、小田原市（小船、中村原、沼代、上町、小竹、山西、前川（1番地から245番地まで及び1,580番地から1,595番地までを除く。）、羽根尾、東ヶ丘、川匂、国府津4丁目（1番地1号の一部に限る。）及び国府津5丁目（1番から6番までを除く。））並びに中郡大磯町及び二宮町 足柄下郡箱根町（仙石原、宮城野、強羅、木賀（字木賀、新田及び川向に限る。）及び元箱根（字旧札場、三右ヱ門平、禅月山及び神宮山に限る。）に限る。）※	0463(73)6122(代)
厚木水道営業所 厚木市水引2丁目3番1号	厚木市、伊勢原市及び愛甲郡愛川町（中津（字吹上、桜台、下菅原、諏訪前、諏訪、諏訪東、上六倉、一ッ井、上菅原、大塚前、下大塚、大塚、大塚下及び下六倉に限る。）、角田（字箕輪下原に限る。）及び春日台に限る。）	046(224)1111(代)
海老名水道営業所 海老名市上郷717番地	海老名市及び綾瀬市	046(234)4111(代)
大和水道営業所 大和市西鶴間3丁目12番18号	大和市	046(261)3256(代)

※平塚水道営業所が管轄する足柄下郡箱根町の給水装置工事について、申請書の受付及び設計審査等は箱根水道センターで行う
箱根水道センター：所在地 足柄下郡箱根町宮城野626番地の11 電話番号 0460(82)4306(代)